

自由記述

【問 15 同和問題（部落差別）についての自由記述】（順不同）

問 15 同和問題（部落差別）について、日ごろ感じていることがあれば、自由にお書きください。

※回答については、そのまま記載することを基本としていますが、紙面の関係上、一部省略している場合があります。

16～19歳

- ◆ 講演会に来る人の思想が強すぎる(学生)
- ◆ 昔実際に差別を受けた人達の話に比べて、今は大分少なくなったと感じる。スマホがなくやることも少なかった昔はわざわざ部落差別をすることにも意識を向けられただろうけど、現代の若者は正直それどころではないと思う。逆に今若者が部落ごとに差別し始めたらそれはしつこくひどい教育を受けてきたとしか思えない。地域の人との関わりよりスマホをつつく人の方が多い現代では、同和問題より SNS 問題の方が深刻だと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ なんでみんな引っ越さないのか(学生)
- ◆ 大多数の人はどこが部落かすら知らないと思うから、そこまで話題にしなくていいのでは？(学生)
- ◆ もっと学校教育で力を入れるべき。(学生)

20～29歳

- ◆ 同和問題が今もなお、続いていることであるという認識はありましたが、目の前の日常に追われ、そこに目を向けることが出来ていなかったと、このアンケートを通して、思わされました。今も、「同和地区だから」という理由で、就職や結婚が出来ない、という人がおられることが、にわかには信じ難いです。私はどの地区が部落であるかも存じ上げないのですが、家庭によっては語り継がれているということでしょうか。(会社員・団体職員)
- ◆ 平成の中頃で部落・男女・障がいの有無を理由とする差別はおおむね解消されたと認識している。国・自治体ともに財政が厳しい昨今において、人権啓発・同和問題に大きな予算が割かれることに問題意識を持っている。小中学校での人権教育で十分効果が出ており、行政による啓発は縮小されるべきと考える。男女共同参画・同和問題よりも少子化対策や介護などに予算・人員が移行されるべき時期であろう。(学生)
- ◆ 同和問題を身近に感じる経験が無い為、何も感じていない。(教職員)
- ◆ 教育として部落差別を扱うことに疑問を感じている。知ってどうこうするわけではないが、そう思わない人もいるため、知らない方がいいと思う。(医療・福祉)
- ◆ 学校や勉強会で、どこの場所がそうなのか、言わなくていいと思った。それまで、知らなかったから、知ると、気まずい。(学生)
- ◆ どこに同和地区があるか分からないし意識したこともない。ただそういった理由での差別があり、それはあってはならないことであると学ぶことは重要だと思う。(公務員)
- ◆ 私の周りで被差別部落を差別している人は50代以上の人がばかりで、30代以下の人で差別発言をしていたり差別感情を持っている人を見たことがない。(会社員・団体職員)
- ◆ 政府の考えを変えないと一生この世は変わらない(その他)
- ◆ 小学校の時に授業で学んでいたのに差別をすることはなかったが、学生時代、実際に年配の方が「あの部落出身だからあの人は?」といったように差別発言をしているのを聞いたことがあり、とても不快だった。(会社員・団体職員)

- ◆ 若い人になるにつれて気にしている人は少ないと思う周りの人も学校で学ぶまで同和問題について知っている人はほとんどいなかった(医療・福祉)

30～39歳

- ◆ 正直なことを言えば、学校で学んだことで、「差別をしてはいけない」よりも「被差別部落という場所がある」という、自分にとって興味の強いことが中途半端に印象に残ってしまった感がある。今になって個人的に思うことは、「教える＝部落差別の存在を広める」だったかもしれないということ。被差別部落出身の方々が、今どのような状況で生活しておられるかわからないので勝手なことは言えないが、ある程度物事全体を見て自分の年齢で考えられる年齢になるまでは、「自分と他人は違う考え方をする違う存在で、自分も他人も大切にしなければならぬし、大切にされなければならぬ」くらいの部分の授業で自分には十分だったと思う。(家事専業)
- ◆ 周りで起きていることすら聞いた事がない(会社員・団体職員)
- ◆ 自然になくなっていけばいいと思う。(意識が)(会社員・団体職員)
- ◆ 同和問題は学校の授業で知りました同級生もいたので歴史を知ることによって深く理解はした、と思っています。ただ、「部落だ、部落だ」と言う人は高齢者の方ばかりな気がしますが、実際はどうなのでしょう？今の若い人達へ(知らない人が圧倒的だと感じますが)の授業は必要なのか疑問です。差別は同和だけでもないです。もちろん、歴史を知っていく事も大切だと思います。ただこれからの世の中では、様々な事に対して自分に対し理不尽な事がおきたときに、それをはねのける強さを育てることに力を入れてほしいです。(医療・福祉)
- ◆ 同和問題にふれることがなく、深く考えることがない(会社員・団体職員)
- ◆ 気付いていないだけかもしれないが、同和問題学習以外で部落差別について見聞きすることがない。同和問題学習はできるだけ新しい情報で行うべき。(医療・福祉)
- ◆ 子どもの頃に仲良しの子が部落差別を受けている地域に住んでいました。祖父母世帯の方がよく知っていました。同じ人間なのに差別があるというのは不思議に思いながら、本質的には動物の本能があるのだと思いました。(家事専業)
- ◆ 昔はあったと家族から聞きましたが、今も昔もあまりいい気持ちはしません(専門職・自由業)
- ◆ 気にしていない(会社員・団体職員)
- ◆ 日ごろから特に意識することはないので、あまり感じることはありませんが、同和問題に関して差別的な発言を見聞きすると、嫌な気持ちになります。(専門職・自由業)
- ◆ 同和地区と知らないことの方が多く、先入観を持ってその人と接することはない。同和地区がどこであったかの知識よりもそういった意識、過去の出来事のみを知っておくことは大切だと思う。同じ過ちをくり返さないような伝え方は必要。(医療・福祉)
- ◆ 自分自身が同和地区出身で、結婚するまでは全く気にしていなかったが、結婚が決まった時、義父が、同和地区出身かどうか調べたようで結婚を反対された。(14年前)夫は、結婚反対するのであれば親子の縁を切ると言い、結果的には結婚できたが、ただ同和地区で育っただけで差別される事におどろきました。しかし、今になって思うのは、同和地区は固定資産や奨学金の優遇などが、他の地区の方からすれば不公平で、さらに差別を助長しているのではないかと思います。(医療・福祉)

- ◆ 私自身は気になりませんが、後期高齢者世代にはまだ根強い差別意識を持った方が多くおられるように思います。現に差別されるような発言をその世代からしか聞いたことがなく、同世代では聞きません。このまま部落差別が無くなることを祈ります。(会社員・団体職員)
- ◆ 前向きにどうでもいいと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ なんのために同和問題を取り上げるのかこの質問の意味がわからない。こちらは気にしていないのに余計に差別意識を強められている気がする。(会社員・団体職員)
- ◆ 自分達よりは親世代が反対などすることが多いように思う(医療・福祉)

40～49歳

- ◆ 歴史からくる、わかりやすい差別の一種だと思う。だからこそ、学ぶべきことだと思う。人は常に差別区別をしながら生きていることを実感するために。何が差別に繋がるとどのような結果をもたらすのか、体験からの痛みや反省、または豊かな想像力、どれかを持ち合わせないと差別について学べない。ただ(話を)知っている、言葉を聞いたことがあるのは学びではない。(公務員)
- ◆ 過去には差別があったと思うが、そのことをずっと逆に意識するのは逆に良くないと思う。今はないのだから皆同じで接するし、国が教育で教えるのはいかがなものかと考える。人によっては、部落だからと、支援を受け続けるのはおかしい。(会社員・団体職員)
- ◆ 誰がどこで生まれ、暮らしているかということを重視するのではなくて、今あるその人を大切にしたいことを重視したほうが社会全体が幸福になれると考える。(教職員)
- ◆ 啓発すること自体が、意識づけになってないだろうか(会社員・団体職員)
- ◆ 同和問題について知ることは大切だと思うが、この意識調査をすることが一番不必要と思う。必要のない情報を何故必要としているか分からない。差別をなくしたいと思うのであれば、学習すら必要もない。この調査を続けることは無意味である。事実自分の子どもたちは何も気にしていない。(役員・自営業者)
- ◆ 同和問題として取り上げているのが差別になる。日本人差別は、県外では、差別についてなどの質問をされたことがない。授業でしたが、子どもの反応は「だから何？」という考えだと思う。(医療・福祉)
- ◆ 同和という言葉が「人権」の方へ変えていく方がこれからの時代に合っている気がする。人権の内容も変化が出てきて、これからの若者には、なかなか同和という言葉はピンと来なくなってくるのではないだろうか。世の中は人権という言葉で動いているので、それに合わせた呼び名にしていく方が良いと思う。(教職員)
- ◆ 最近を感じることは減りましたが、小中学生くらいの時は部落出身の方の話を聞いて、ひどい世の中だな、普通に結婚できないのかと感じました(会社員・団体職員)
- ◆ 同和問題の現状が良く理解できていない(役員・自営業者)
- ◆ 高齢の人ほど気にするし、話題にしていると思う(会社員・団体職員)
- ◆ 昔よりは部落差別は少なくなっているのではないかなと感じます。このままフェードアウト的になればよいなと思います。過去の事実は伝えていく必要はあると思う。(会社員・団体職員)

- ◆ 今もそういう言葉があることにびっくりです。時代の進化と共に忘れてもよいのではと思います。知らなければ無理に教育しなくてもよいし、自身が知りたいと思うのなら自分で調べればよい。SNSのいい加減な表現に惑わされない意志を持つことも大事です。(医療・福祉)
- ◆ 子どもの頃から学習はしてきているが、なぜその地域出身ということだけで差別されるのか、理由が全く理解できない。大人になって部落出身の方の講演を聞くなどしているが、その方々がどのような思い・体験をして成長されたか、過ごしておられるかの一端は理解できても、やはりなぜ差別されるのか?ということにはわからないままです。もっと差別の根本に迫るような研修があればありがたいと思う。今のままでは自分の子どもに差別はいけないと説得力を持って伝えられない。上辺だけの教育になってしまうことを危惧している。
(専門職・自由業)
- ◆ 今は学校でも学習はしないようで、部落の子どもたちだけが、理由もわからず話を聞いている現状、もしくは何も聞かされていなく知らない子もいると思います。高学年になって親から自分は被差別部落の生まれだよ。と伝えて下さい。と言われるところもあるようです。何の意味があるのか分からない。役所の人でさえ引っ越し先が部落の住所だと「本当に住むんですか?!大変ですよ。」と言うようです。(無回答)
- ◆ 小学校の授業以来、日ごろ意識する事はない。祖母の世代ではそういった言葉を聞いた事があるが、今は生活していて聞く事はない。何十年も。(会社員・団体職員)
- ◆ 学習をすることで問題を知ることができる。しかし、学習しなければ知られることはないが、知ることによって苦しんでいる(知られることが)であろうと考える人と出会ったことがある。正直学習することがいいのかも悩んだ時はある。知らなくて良い方向に進むこともあるからだ。(教職員)
- ◆ 目に見える差別を見聞きしたことがないので、被差別部落の人の怒りを理解できない。研修などでは、いつどんな場面があったのか具体的な事例を知りたい(昔の話ではなく現代の)。(教職員)
- ◆ 県外出身で地元ではどこが同和地区かわからない。現住所へ移住し、近隣の同和地区はここにあると聞き、大変驚いた。地元も田舎だが、こちらは根強く残っていると感じる。
(医療・福祉)
- ◆ 知る必要がないことを学校の授業でする必要はない。知れば偏見は必ず出る。(会社員・団体職員)
- ◆ 世代が変わっていけば差別する人も少なくなると思う。子どもへの同和教育は続けることが大切だと思う。教育を受けた世代は同和问题への理解があるのでそんなに気にしなくなる。今の高齢者はまだ部落差別が根強く残っていた時代なので、潜在的に差別は残っているのでは?と思う(今の時代、口にすることは無いと思うが…)。(アルバイト・パート)
- ◆ 年配の方たちには今も根強く残っているかもですが、若い世代にもそういった考えがあるのでしょうか?無知ですみません。同世代や下の年代からもそのような話を聞いたことが無いもので。(会社員・団体職員)
- ◆ 特に何も無い。このアンケートの質問と答えの文章、偏りがあり誘導的。(農林漁業者)
- ◆ あの地域は同和地区だからと年輩者から聞いたことがあるが、そういうことは問題には決してならない。差別、人権侵害をしてはいけ無い。個人個人が尊重される社会になれば、未来は明るくならないと思う。そういった差別的な考えがない世の中にならなければならぬ。(無職)

- ◆ 地域の研修会等が大変そうだから、その土地には住みたくない。(無職)
- ◆ 詳しく分からない(会社員・団体職員)
- ◆ 身近では問題を特に感じていません。(アルバイト・パート)
- ◆ 同和問題は過去の出来事であり、すでに解決している問題と認識しております。いつまでやるつもりですか？先代で同和差別を受けていた方の悔しい気持ちもある程度理解できますが、未来思考型で前に進むべきではないですか？(医療・福祉)
- ◆ 子どもの頃あったが今は気にならない(医療・福祉)
- ◆ 問題がある事を感じていない。(アルバイト・パート)
- ◆ 部落とは何？と言うくらい皆さんとの関わりに、不快な感情等、微塵もなく関わりを持っている。(役員・自営業者)
- ◆ 若い人はあまり意識していないと思う。今でもこだわりを持っているのは高齢者である。(公務員)
- ◆ 研修で今の同和問題聞くのは大切だと思う。研修に参加して、知らないこともあって、みんなも知っておくべきだと思った。(教職員)
- ◆ 40代だが、部落だからと差別をする意味がそもそも理解できない。(農林漁業者)
- ◆ 被害者意識が強すぎる声の大きな方がいるせいで、現状がよく見えてないと思います。(医療・福祉)
- ◆ 大人になるにつれて同和問題に関する研修や勉強会等に参加する機会が少なくなったと感じる。(公務員)
- ◆ 騒ぎすぎというか最近の人は気にもしていない気にしているのは老害だけ(公務員)
- ◆ 同和問題は本来の部落差別とは異なる団体が絡みだしてから複雑な問題になった。虐げられた人々を演じて利益を得る団体がいるから問題が根深い。大阪に居住していた時には部落の人からとんでもない仕打ちをされた話も聞いた。単純に差別は良くないと言う話ではないことは理解している。(会社員・団体職員)
- ◆ 30年前は問題発言も聞いたが、最近は当事者の団体が活動している事以外では聞いた事が無い(会社員・団体職員)
- ◆ 同和問題に限らず、生活保護など…本当に支援や理解が必要な人たちに、適切で公平な支援がなされているのか…そういったシステムができているのか…ということについて、時々考えます。(その他)

50～59歳

- ◆ 個人的なことだが、地区出身の方が人を糾弾するように責め立ててこられることが多かった。(何人もそういう性格の人に遭遇してきた)地区の方が全員とは勿論思わないが、大声で人の事を責め立てたり罵る方、譲る心のない態度の方が多かったです。(その他)
- ◆ 高齢者と若者の考え方の違い、その間でどちらの気持ちも理解はするのですが、特に高齢者に、考えを改めるように話し、理解を得ることはむずかしいと思っている。自分の家族にそのような状況がおこった場合に、どの様に対応していくべきか、どうすればみんなが笑顔になれるのかと考えることはあります。(医療・福祉)
- ◆ 10年ほど前に離婚しましたが相手の人は部落差別をはじめ、あらゆる差別をする人でした。私にとってはどんな人でも自分に害があるわけではないので差別をする事が理解できず耐えられませんでした。離婚原因の1つです。どうも子どもの頃から親や祖母に部落について言

われて育ったようでした。私の子どもにそんな考えをしてほしくなかったので離婚して良かったと思います。(会社員・団体職員)

- ◆ 寝た子を起こすのではなく、徹底した教育が必要(会社員・団体職員)
- ◆ 日頃から特に感じたり思ったりする事はないです。年に1度の人権(地区の)学習に参加した時は、色々考えることもありますがやはりその場限りになっているかと思います。(教職員)
- ◆ 不思議なのだが、私の身近で部落差別を感じたことが無い。地元でもなかった。何故だ?いくつか本を読んだ事もあるが、具体的にどんな差別をされた等書かれていない。(無職)
- ◆ 小学校、中学校で授業で習いました。祖母から部落地区へは近づくなと言われたのを覚えています。大人になって思ったのが、学習って必要なのかな。教わらなかつたら、部落という言葉、部落差別という言葉が無くなるのではと。消滅できたのではと思う時あります。中途半端な知識のせいで、判断に困る事あるのではないかと。その時自分はどうするんだろうとこの調査を通して感じました。正直分かりません。(アルバイト・パート)
- ◆ 子どもの頃は学校で学習しましたが、大人になり、学習する機会もほとんどなくなりました。大正生まれの祖母は、差別的な発言をしていたことを思い出しますが、最近は身近ではあまり聞かれなくなったようにも感じます。まだまだ、部落差別が消えていないのであれば、悲しい事です。関心を持つことは大切だと思いました。(農林漁業者)
- ◆ 小学校か中学校で、同和問題を学びました。当時はわざと階級が設けられたと学びました。でも今はそうは思いません。同和問題(部落差別)は、それなりの理由があると思います。(公務員)
- ◆ 身近に聞いたことがないので、よくわかりませんが、もし子どもがその方と結婚すると言ったら、次の孫のことを考えてしまい、反対はしませんが喜んでとは言いません。(アルバイト・パート)
- ◆ この調査で思い出しました。学校で何故こんなことを教えるのかと学生の頃、疑問を感じました。大人が差別しているように、その時は感じたと思います。(その他)
- ◆ 同じ時代、同じ時間を生きている人たちの間には、もう必要のないことだと思います。昔にあった差別を今になってまで引ずっていくことは無意味だと思います。(家事専業)
- ◆ 日頃考えることはほとんどない。けれど学生の頃、学校の授業で、どんなことが過去にあり、そのことが同和問題に発展してしまったということを知った時は、何でそんな知識を教えられたのだろう、知りたくなかったと思った。伝えていかなければならないことなのか、疑問に感じた。そんな必要性あるのかどうか、今もわからない。そのことで新たに差別する人が増えてしまうのであれば、伝えていくべきではないと思う。(医療・福祉)
- ◆ 個人個人はきつと問題ない。集団・コミュニティでまとまると恐ろしい。どちらも。一人ひとりの意識を正しく持つ、考えを持つ、強い誰かに流されない上で自分を大切に。人も大切に。互いに歩み寄り譲り合う。差別問題というより、当たり前人間関係が築けたらいいのに、と思う。差別はどこにでもある。(家事専業)
- ◆ 「部落差別をするな」という学校教育それ自体が差別を助長していると思う。同和問題に取り組むことが、お金が絡んでいるからやっていることではないかと思う。(役員・自営業者)
- ◆ 身近で見たり聞いたりすることがない(その他)
- ◆ 現状、その部落名と近い部落名の方は、部落名について気にしてる。(公務員)
- ◆ 昔は平然と横行していたが、今は一部の理解ない人間によって差別が残っている学校教育が非常に有効だと思う(役員・自営業者)

- ◆ 知らないでは差別していることにも気が付かないので”知る”知識をつけることが大事だと思う(役員・自営業者)
- ◆ 小学生の頃は授業で同和問題についてよく学習した記憶があるが、成長するにつれてこの問題にふれる機会が減ってきた。同和地区がどこなのかも分からず、日常生活をおくるのにあまり関心がなくなってきている気がする。皆、この問題についてふれなくなってきているのではないのでしょうか?(会社員・団体職員)
- ◆ どの地区が部落なのか知る必要があるのかなと考えてしまいます。友達が部落地区に住んでいるからといって気にしたことなんて一度もありません。同和問題についての授業をするから意識するのではないのでしょうか。(専門職・自由業)
- ◆ 家の近くに同和地区があり知人もいるが、特別意識したことはなく他の地区と同じように感じている。ただ、差別的な人がいるのも事実で、あえてそこに住もうとは思わない(不当な扱いを受けたくないから)。(アルバイト・パート)
- ◆ 最近では同和問題に関する差別事象をあまり聞かなくなってきたように感じる。が、なくなったわけではないと思う。(教職員)
- ◆ 差別だけでなく、特別扱いされている部分もあるのでは?(会社員・団体職員)
- ◆ どこが部落かわからないので何も感じていません。(医療・福祉)
- ◆ 子どもの頃は学校の授業で教えてもらいましたが、実際身近に部落差別を感じたのは仕事をするようになってからです。結婚となると今でも反対されることを知りました。また、就職先が「先生」と呼ばれる人の会社だったため、先生の言われる事を聞くだけの環境で、その先生も、部落差別をしていましたし、結婚した義父も、そういう人でした。ありがたい事に、両親は全く部落差別をしない人達でしたし、夫もしません。部落差別の本も読みましたが、「今もある」という内容と「今は人が入り乱れて、部落の線引きもあいまいになっている」という内容もあり、それぞれだなあと読みました。自分自身も「人間か、人間じゃないか」が主な考えなので人種が違おうと、生まれがどこだろうと、それほどです。(医療・福祉)
- ◆ 中学校で初めて同和教育の授業を受けました。年度の終わりごろには、クラス毎に被差別部落出身の同級生が発表を行う内容もあり、「ここまでなくてはならないのか？」と疑問に思いました。差別という壁に打ち勝つための第一歩として、本人を強くするための教育として、当時は、正当化されていたのですが、誰にとってもただ辛い経験でしかなかった気がします。当時と歴史的解釈も変わり、正しいとされる事実も変わってきている様です。正しい理解を広めていくと共に個人を守りながら、差別を解消する教育が行われるように希望します。(医療・福祉)
- ◆ 最近では祭事・神事の継続も途止まっている地域が多いと思う。(世代交代による)しかし、まだ同和地区を気にする風習が薄れずに続いているとしたら、驚きだ。日本もグローバル化が進んでいるのに時間が止まったような考えをする人々が居座っているとしたら、かわいそうになる。(農林漁業者)
- ◆ 同和の問題を知ってしまうので、意識してしまうのではないかと、いつも思います。(会社員・団体職員)
- ◆ 見えづらくなっていると思う。又、「差別している」そう思って、やっていることは少なくなっているが、何かのきっかけで、「それでか・・・」などと思ってしまうことがあるので

はないか。(特に、自分と深く関わる時、不利益になる時などで・・・) そう考えてしまうところが、自分が気にしているんだと気づき、改めないと思う場面である。(教職員)

- ◆ (問について) 差別する気持ちはなくても、実態として差別があるのなら、家族が結婚して差別を受けることは避けたいと思ってしまう。本人同士がそれを覚悟しているのであれば反対はできないでしょう。小学校の授業で学んで、部落差別を知りました。当時、結婚を反対されるなどの差別があると教えられました。あれから40年近く経ち、「寝た子を起こすな」論があったりします。現在、どのような事例が起こっているのか知る機会がないので、現況を知りたいと思います。(会社員・団体職員)
- ◆ 学校の授業で同和地区のことを学んだが、今の子ども達も同じように学んでいるのだろうか?今思えば、そんなことを学ばずに知らない方が、差別を感じずにいられるのでは?知りすぎると余計、考えてしまうから。全く知らずにいた方が今の子ども達にとって、いいのではないかと最近思う。昔の考えの周りがさわいでいるだけで、今の子は気にしないのではないか?(アルバイト・パート)
- ◆ 悪いイメージはなく、隣近所や親類を大切にしながら生活されているといつも感心します。(医療・福祉)
- ◆ 差別される側にも問題がある事もある(医療・福祉)
- ◆ 年配の人ほど差別意識が高く、逆に若い人ほど気にしない(又は知らない)人が多いと思う(医療・福祉)
- ◆ 同和問題と言う事が無くなれば、知らない人が多くなり、差別する事も無くなるのではと思います。言葉に触れる事で部落等を調べて差別が始まる気がします。このアンケートも同様。(会社員・団体職員)
- ◆ 権利主張し過ぎ(その他)
- ◆ 現在の部落差別の実態が不明です(役員・自営業者)
- ◆ 同じ人間なので差別する必要がない。(会社員・団体職員)
- ◆ 大袈裟にし過ぎ(会社員・団体職員)
- ◆ 若い世代は気にしてない人が多いと思う(会社員・団体職員)

60～69歳

- ◆ 生まれた場所だけで差別する事が異常です。大人、親達は子ども達に差別が人も自分も傷つけることを教えていかなければならないと思います。(家事専業)
- ◆ 差別されていやな思いをされたりした事をきいた事があり自分は差別してはいけないと思っていますし、最近では少なくなっていると思う。(アルバイト・パート)
- ◆ 同和地区の地名をあまり知りません。色々な集まりの雑談の中で「あそこは××だよ。」と言う人がおられますが、良く知っておられるし今でも言う人がおられるんだと思いながら聴いていますが同調せずに注意をする事が出来ない。(会社員・団体職員)
- ◆ 一生懸命働いている知人もいれば、自分の環境に不満をいい、めんどろなことは人のせいにしていきてる姿をみれば尊敬するに値しないように思われてくる。(無職)
- ◆ 同和地区の方達が今まで差別を受けてきて、仕方ない事かもしれないが、最近では、その方達に対して、何も言えない。何かちょっとした事でも(差別的な発現でなくても)逆に攻撃

される逆差別のような事も感じられる。同和地区の人達が、何かあっても守られていると・・・気性も荒くなっている気がする。(アルバイト・パート)

- ◆ 部落差別は、なくしていかなければならないと思います。(無職)
- ◆ 現在 60 歳を超えている私ですが、子どものころは身近に同和地区もあり、同和問題を考える機会が多かったと思いますが、実家を出て、鳥取市内に居住してからは、正直同和問題を身近に感じる事が無いように思います。現在も実際に同和問題は起こっているのでしょうか？そんな感じです。(アルバイト・パート)
- ◆ 家が同和のため、何世代もそのことで結婚の反対、風評の被害は起きています。その家に生まれてきたということで、永久に引きずって行かないといけないものなのか。簡単には考えることができないと思います。(無職)
- ◆ 部落差別について意識したのは高校生の頃で、小学校の校区に「部落」があることを知りました。しかし、そこに住んでいる同級生を特別意識することはなく、普段と変わらず接し続けています。ただ、兄(80代)は差別意識が残っており、息子が同和地区の女性と結婚する際は反対し、式にも出なかったそうです。孫が出来たらそんな意識はどこへやら、それが救いですが。親に影響されて差別意識をもつことも考えられるので、同和教育はしつこいようでも必要と思います。(会社員・団体職員)
- ◆ 意識していない(会社員・団体職員)
- ◆ 部落差別の行政による学習会(人権・同和の学習会)は、同和に偏りすぎているので止めてもらいたい(農林漁業者)
- ◆ 同和問題以外、現在いろいろな人権問題が取り上げられるようになり、以前のように人権問題＝同和問題のような感じではなくなったが、続けて解消に向けての取り組みが必要であると思う。(無職)
- ◆ 行政はよく啓発活動をしていると思う(無職)
- ◆ 性格の良い人もいるが悪い人が多い。私の人生で付き合いしてきた人はそうだった。良い人とは仲良くしている。学生時代いじめられた。今でも性格良くない。同和の人は身体障がい者等を差別する人がいる。(農林漁業者)
- ◆ 今現在のご本人様がどういう人なのかという事が大事だと思う。人間的に素晴らしい人なら、関係ないと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ 同じ人間なのにどうして？としか思えない”差別”って言うのは時代がどうであれ”無”だと…(無職)
- ◆ 昔のような差別はほとんど無くなったと感じる。(家事専業)
- ◆ 今だに、この様なアンケート調査がある事が疑問に思う。世界情勢や、国内外の様々な問題山積みの中、この問題に、固執している時代ではないと思う。国内の貧困の問題や、子どもの成長、子ども同士、あるいは大人でも、希薄な人間関係世の中がおかしくなっている今、根本的な道徳教育もうすれていると思う。人、人間を大切に思う気持ち等、幼児教育から見直す必要があるのでは、それが、この問題にもつながっていると思う。(無職)
- ◆ 友達が同和地区の人と結婚する時、「大丈夫？」と別の友達に尋ねたことがあるが、その友達も同和地区の人だったとずっと後になってから知った。とても悪かったと心残りの思いを抱いて年を重ねてきてしまった。現在はもう同和地区の近くで暮らしていないが、あえてそ

の思いを子ども達に話すこともなく、差別もまわりの人達は知らないようだ。口にすることが恥ずかしいとのこと。(家事専業)

- ◆ 50年先100年先には部落、差別、同和などの言葉がなくなっているようになるといい。(専門職・自由業)
- ◆ 特段意識していない。子どもがすでに結婚している。そのことについて違和感もなかった。(農林漁業者)
- ◆ 歴史的なことがあり、部落差別が行なわれてきたが、現在においても差別が解消されないことは、同和問題というより、世の中全体が人権(命)を軽んじる世になっていると思います。ハラスメント行為も後を絶ない、時には人の命をも奪うことが多くなってきている日常にある。このような差別行動がなくなれば(減少)同和問題を解消されるのではと思っています。(無職)
- ◆ 調査する事が差別問題を広げてるのでは?(役員・自営業者)
- ◆ 同じ人間で差別をするのはおかしい(農林漁業者)
- ◆ 同和問題に関しては、まだ理解不足であり、その苦しみ・生きづらさを想像でしか解せない。現状を知り、理解に努めることが必要。差別をなくすためには、まずは理解する、知る、交流することだと思うが…機会は少ない。(教職員)
- ◆ 学校で学んだり、部落の行事で話し合ったりとかありました。今の時代まだまだ差別する人がいるから、ずっと勉強したり話し合いしたりするんだろうけど、私の意見は、昔の時代のことでは差別することはおかしいと、ずっと思っていました。(無職)
- ◆ 人間は差別などあってはならない。人間に上も下もない。みんなが一緒。人間一人ひとりが尊重されるべき。(無職)
- ◆ 最近は同和問題を見聞きすることがほとんどないから気にしていない(無職)
- ◆ 時代に合っていないと思います。同和地区の方も私たちと何ら変わらないので差別することが理解できなと感じます。(アルバイト・パート)
- ◆ 特に同和問題について見聞きしたことはない(無職)
- ◆ 一般的生活をしている状態で、部落差別について考えることがないため、大人になっての理解がなかなか進まないと思う。今でも「寝た子を起こすな」発言をする人がいることに驚くことがある。(役員・自営業者)
- ◆ 部落差別事象が実際にまだ起こっているにもかかわらず、部落解放同盟の予算を削るという形で活動を支援しようとする琴浦町、など同和問題はもうしなくてもよい、というような風調を感じる。部落問題を学ぶことは全ての人権問題を学ぶことにつながり、全ての人が安心できる人間関係を築く基になると思うので、まだまだこの国にとって必要な学習だと思う。行政には積極的にすすめてもらいたい。(会社員・団体職員)
- ◆ 年寄りの人は特に差別意識が強いと感じる(会社員・団体職員)
- ◆ 無くすべきである(農林漁業者)
- ◆ 自分に置き換えて、考えれば嫌な事なのに何故してしまうな理解出来ない(会社員・団体職員)
- ◆ こういうアンケートがあって、今でもあるのかと思った。最近では聞いてなかった(無職)
- ◆ 最近ではあまり意識していない。(アルバイト・パート)
- ◆ 双方の考えにズレがある(アルバイト・パート)

- ◆ 過去の情報として学校で同和の意味を教えるのは問題ないと思います。ですが、その授業の終了後に同和部落の生徒を集めて何やら話をしていたのを経験したことがあります。私たちは、その同級生を差別したことはありません。この行為は、「この人たちは、同和の出身です。」といているようなものです。この有様をみて授業ごのアンケートに「寝た子を起こすな」と書いた同級生がいました。それも一つの考え方だと思います。難しい問題です。
(会社員・団体職員)
- ◆ この話題に遭遇したことはありません(無職)
- ◆ 同和地区の方でしたが被害妄想がひどいかなと思われる方がおられました。過去の体験までは解らず人として一線を引かざるを得なかったことは残念でした。(医療・福祉)
- ◆ 最近では部落差別を感じることはないように思う。(教職員)
- ◆ 過去の歴史を考えると絶対差別をしてはいけないとは思わないが、負の部分を除いては差別をなくしていかなければならない。(アルバイト・パート)

70～79歳

- ◆ 日々の生活で、同和地区出身という事を考えて、人と接した事がない。(家事専業)
- ◆ 同和問題はやはり学習していかなくてはいけないと思う。寝た子をおこす的な考えはダメだと思う。同和地域の人もそうでない人も共にするべきで交流やつきあいがあるのならこそだと強く思う。(役員・自営業者)
- ◆ 私より年代の上の人はこだわりがありよく話にでてきますが返答に困る時があります(医療・福祉)
- ◆ 何処の出身であれ、生活する上、互いに助け合って生活しています。(その他)
- ◆ 昔は同和地区のことを聞いたが、現在では地名も変わり、広く色々な人が住んでいるので分からなくなっていると思う。(会社員・団体職員)
- ◆ 同和地区かどうかではなく、人間としてみて付き合う(無職)
- ◆ 現在、同和問題を耳にすることはなく、少数化してきている(無職)
- ◆ お店を経営しているのでよく利用されますが、皆様とても心優しい方ばかりです。明るくてお話もされます。なにも気にすることはないように思います。(専門職・自由業)
- ◆ 同じ人間なのだから普通に接したらいいと思う(アルバイト・パート)
- ◆ 同和地区と話題に出しすぎる(無職)
- ◆ 同和問題は中々難しい。でも時代とともに変わってきていると思います。子どもたちに同和制度がどうして出来たかということ教えることです。(無職)
- ◆ 以前、不動産の仕事をしていた時に、顧客からここはそのような地区か尋ねられた時に、例えNoであると知っていた時でも、「自分の口からYesともNoとも答えられない。もし知りたかったら自分で調べてください」と答えていた(会社から言われたわけではなく、自分個人の考えで)。(無職)
- ◆ 今は差別はない(無職)
- ◆ 今の時代、あえて問題にすることはない(アルバイト・パート)
- ◆ 産まれた時から校区に同和部落があり、幼稚園・小学校等々一緒に行き、遊び、同和の友の家に行き、菓子等をもらい、あまり何事も気にせず遊んで大人になっております。でも、結婚等は友達と違い、やはり気になり、同じとはなりません。悪いけれども…?(無職)

- ◆ 昔、父から、朝鮮人の方の話を聞いたり、妹の結婚の話があったりして「差別」という言葉を知りました。私の中には、そういった意識がなかったので、びっくりしたことがあります。時代が変わってもそういう社会的意識があるというのは良くないことだと思います。(無職)
- ◆ 人間みんな大切な存在。部落差別など絶対にあってはならない。(無職)
- ◆ 15年ほど前に米子市内の小中学校で人権教育が行われ、被差別地域の子どもが部落民宣言させられたに等しい学習発表会が行われた。これこそ人権侵害だと思った。当事者、また、周りの子どもも悲しみ苦しんだ。今すべきは基本的人権をしっかり学ぶことである。そうすれば自ずと同和差別することが間違いであるかに気付く。人権学習の中で被差別部落の地名まで言うのはもってのほかだ。(その他)
- ◆ 差別について闘ってきた先人がいたからこそ差別解消が進んだ。勇気ある先人を尊敬する。学習することが大切であり、行動へつなげることが大切である。(家事専業)
- ◆ 同和問題を正しく理解し、常に差別心がありはしないかと、自分をふりかえらなくてはいけない。(無職)
- ◆ 子どもの結婚の時、まわりの人に身元調査はと聞かれる。その時、子どもの気持ちを尊重したいと答えるが、まだ、そんな人がいるのかと考えさせられた事がありました。(アルバイト・パート)
- ◆ 同和問題はだんだんと研修などでも人権問題としての中でとらえられてきたが、まだまだ部落差別は高齢者の中では根強く残っていると思う。(農林漁業者)
- ◆ 自然消滅すると思います。(無職)
- ◆ 同和について知らない子どもに教える必要があるのか、未来には話題にならなくなると思うが。(家事専業)
- ◆ 差別、差別という事自体が差別を誘発しているのではないかと思う。事情を知らないまま、なんとなく差別するのではなく、なぜ、部落問題が問題になるのかという根本を知らせるべきだと思う。ほとんどの人は理由も知らず差別しているのだと思う。本当の事かどうかはわからないけれど部落の人達に対する優遇もあると聞いた事がある。要は中身を知らないまま言葉だけがひとり歩きしている感も有る(あくまでも私感です)(家事専業)
- ◆ 私自身同和地区で生まれ育ちましたが、高校生の時、青年団の方から話を聞くまでは自分の地域がそういう場所だとは知りませんでした。ちょっとショックを受けましたが、よく考えると他地域の方達と何ら変わらず生活できていました。結婚し、子どもができると小学や高校まで、又、地域・職場・町等、人権学習がたくさんありました。昔風の考えの人を変えようとするのは難しいが、正しい知識や差別の必要がないと認識できる人を増やしていくことで、生活しやすい環境になると思います。(教職員)
- ◆ 2, 30年前より人権、差別等と言うがあまり行き過ぎた被害者面はだめだ、それを金で解決しようとしてさらにエスカレートしてきている、それに対して国、行政が一緒になり普通の人に対して何でもしてもかまわないとさえ思っているように見える。人権、差別を利用して金取りをしないように、弱者気取りをやめる様に行政も指導する事。(その他)
- ◆ 別に何も感じない(アルバイト・パート)
- ◆ 同和問題については歴史的背景とか、世情的経済的な理由から、貧困な生活をしいられていた時代もあるが最近では公助などもあり、相当改善されているように思います。今後は同和

地区（出身）を問わず、人として、互いを思いやり、差別のない社会が訪れればよいと思う。（農林漁業者）

- ◆ 学習した人としてない人との差を感じる。（家事専業）
- ◆ 同和問題は、昔の事。今現在は、生活して行く事の方が大変です。同和問題より明日をどうやって生きていく事の方が大事です。（役員・自営業者）
- ◆ 問題なく特にありません。（無職）
- ◆ 同和問題を、いまだに言っている事が、理解できない。問題にすればする程、差別になるのでは？（専門職・自由業）
- ◆ 先日新聞の投書欄で「自己の差別心との闘いなしに差別をなくす取り組みはできない」との文言に目が留まりました。その通りだと思います。（役員・自営業者）
- ◆ 子どもの頃に父母から部落差別のことを聞いたが時代が変わり子どもたちには話はしなかった（無職）
- ◆ いくら学習してもその場しのぎの方が多いかと思います。一人ひとりがその立場に向き合い、自身の気持ちを変えないかぎり、この問題は一方通行というか、難しいことでしょう！（医療・福祉）
- ◆ 同じ人間が上下をつけることは絶対あつてはならない。差別をする人は気の毒な人と思う（無職）
- ◆ 時代が変わってきているのに差別するということが信じられません（家事専業）
- ◆ 現在（この時）まだ同和問題があるという前提でのこのような質問があること自体にびっくりしています。民主主義、日本国憲法下の日本国民のひとりとして、悲しい事実直面させられました。（無職）
- ◆ 結婚問題が一番のネックだと思うが、現在70代以上の年齢の方々の考え方であつて、今の若い人たちは問題にしないのではと思います。家庭の中で部落差別の話をしたことはありません。孫たちは知っているのかな？同和地区の同級生と飲み会をしたり旅行へ行ったりもしています。若い頃青年団でよく討論しましたよ！（無職）
- ◆ 普段は何も感じず生活をしているが、問題視される度に「部落差別」という問題もあるのかと思う程度です。私は80歳も近いがこの話はよくわからん。他人から聞いて漠然とわかった程度。多分江戸時代に職業的なことから始まったと思うが「部落の人」は「普通の人」に対して被害者的な意識があるのではないか。それで団結力が強かったり、いざこざがあつたりした場合に強い態度に出られるのではないか。当事者になったわけでもないで聞いた話です。以前、この問題の講演会のチラシに「寝た子を起こすな」というフレーズもありました。（農林漁業者）
- ◆ 以前よりは同和問題の話が出てきませんね（家事専業）
- ◆ 部落の人に友達があります。良い人なのですが結婚になるとやはり考えます（反対の方に）。私の友達で田舎すぎて部落の人を嫁にもらった方もあります。最近では部落差別も昔ほど聞かなくなったように思うのですが。本来同和地区の人でも昔の政治が悪いのであつて、あの方たちもかわいそうな悲しいことに思います。（無職）
- ◆ 同和問題の発祥の歴史を知れば理解できるのかもしれないとも思います。何故に同和問題が始まったのか知ることが大事なことも思っています。（無職）

- ◆ 個人情報を守らなければならないが、共生社会をめざすためにも、行政から、関係団体への必要な情報共有ができていないか疑問に思う。(無職)
- ◆ やっぱりどこか間違っているな!!そう思います。(無職)
- ◆ 私は他県で生まれ育ちました。部落差別とか同和問題とか全く知らず、鳥取に来て子どもの授業参観に行って、初めて知りました。大人の人、特に年老いた人たちが、部落差別とかしている様に感じます。あまりにさわぎすぎているのではないかと感じます。誰も好きで、そこに生まれた訳ではないのに、差別を受けるなんて可哀想すぎますね。子ども達のいじめもなくなればいいのにね!(無職)
- ◆ 若い頃(30代40代頃まで?)は、まわりで、そういう事を話題にする人があったが、その後、特に最近において、今でも気にしている人がいるのかなと不思議に思う。(家事専業)
- ◆ 生まれが部落であろうが、人間性(その人の性格)が一番大事と考えています。(無職)
- ◆ 十数年前から江戸時代の「土農工商」の身分階層の記述が教科書から削除されたように、歴史が検証され、修正されているように、年配者の意識の中には身分制のようなものが潜在化され、残っている。こうした歴史に対するフェイクな認識を学習によって転換することが必要ではないだろうか。「集団で虚構(主観)を共有する能力」(ユヴァルソア・ハラリ)
(無職)
- ◆ わからない(無職)
- ◆ まだ、継続して学校教育、啓発活動等をしていく必要があると思います。(アルバイト・パート)
- ◆ 特にありません(農林漁業者)
- ◆ 困った問題ですね。高齢者(私もですが)が次の世代に脈々と受け継いでいくのですから、ここを絶たないとまた次の世代に受け継いでいくのでしょうか。(役員・自営業者)
- ◆ 私達は正しい知識を学んだ世代ではないので中には、偏見や差別が根強い人もいます。やはり、正しい歴史を学び、正しい知識を得ることから人を尊重していくことが大切だと感じます。(家事専業)
- ◆ 人権教育になっていない、今さら何!と思っています。(家事専業)
- ◆ 同和問題について正しく理解していないのでよく分からない。(無職)
- ◆ 問題はない。(無職)

80歳~

- ◆ いつまで同和と言い続けるのか、分からない。逆に意識づけをしている様に思えてならない!(無職)
- ◆ 以前に比べ差別事象は無くなったと思うが、なかなか人の意識は変わらないと思う。自治会等の研修会でも部落差別の取組が少ないように思う。(人権学習時)(無職)
- ◆ 部落差別に限らず、人を差別することはあってはならないとの思いで生きてきました。(無職)
- ◆ 差別する根本的理由は、まったくないと思う。環境の故か粗暴な人が多かったように思う。個人的に親密になれば良い人も多い。同和問題をたねに利益を得ようとしている人が嫌だ。同和を笠に着て利得する人達が居る。この人たちが同和嫌いになっている。差別はダメ。根本的に違っていることはないのだ。少年たちの将来を閉ざしてはならない。今は大変良くなったが、直すべきところがあれば直すべきだ。(無職)

- ◆ 平等な世の中ですが時には耳にすることがあります。(無回答)
- ◆ 昔のように特に部落出身だと言って差別することはない。本人の資質を問題にして付き合う(家事専業)
- ◆ 現在は何も思わない状況(差別全くない)(無職)
- ◆ 差別は許されない、が当たり前な社会を！(無職)
- ◆ 近年、私の住む米子市で部落差別について見聞きしていない。50 数年前までは「部落」といわれる地域はあったように思うが、現在そのような地域は存在していないと思っている(問9 に対する回答もその当時のことです)。なので「部落差別」について、ことさらに取り上げて問題にする意義があるのかと思っている。(無職)
- ◆ 私の娘は同和地区に嫁いで行きました。娘が幸せなら親として何も言う事はありません。(無職)
- ◆ 昔、小学生の頃、今のような同和を前面にすることなく、小学校・中学校、皆同じように学生生活を送った。意識をすることなく同等だった。(無職)
- ◆ 問題に関しての学習会や研修会等は今後も尚必要である。(無職)
- ◆ 現在は、インターネット等で被差別部落をピンポイントで攻撃していると聞きます。特定の人が身元調査や、周辺の人々の動行や交流など、行政には厳しく対応するよう強く望みます。(無職)
- ◆ 同和問題の部落での会合をなくしてほしい。日ごろ何も感じていない。ずっと学生の時から今でもつきあっているからです。(無回答)
- ◆ 私共の頃は小中と同和地区もあり何の違和感もなく仲良く生活してました昔の事です。今の我が子は何も知りません。学校教育が良かったのでしょうか。コロナの前まで中学の同窓会も全員とは言えませんが沢山参加して戴きました。(現在高齢です。今の生活の中では何もわかりません。全て子どもの頃の生活を思い参加させて頂きました。)(家事専業)
- ◆ 自分は80歳台後半の障害者であるが、長い人生の中でこの問題について知人、友人その他の人との間で話題になった記憶がない。未だにこのような調査が行われることに違和感があり、調査の必要があるのが現実ならば、その具体的な実態を平素より県民に知らしむべきではないか。自分が部落差別なるものが社会に存在することを知ったのは、小学校低学年の頃に、そのように人を差別してはならぬと教えられたからであり、知識上のことに過ぎない。なお、通学時には近所の子ども同士で知的障害児の手を引いていた。(無職)
- ◆ 部落差別の歴史を学び、差別との闘いを学ぶことが大切、それが部落差別問題以外の差別と闘う根本となっている。(無回答)
- ◆ 過度に注意喚起をすることは、寝た子を起こすことになり要注意、但し、同和問題に限ってのこと。男女差別貧富等による差別は、全ての分野で差別ではなくすべきだ。(専門職・自由業)
- ◆ 身近に部落差別の人がいないからわからない。(家事専業)
- ◆ 子どもの頃に祖父母や父母から同和地区の話を聞いたことはあります。実際には地区の方との関わりがなく、深刻に受け止めることなく過ごしてまいりましたが、結婚問題などのお気の毒な話はたくさん聞いてきました。同和教育も進んできて、昔とは意識の面では随分変わってきていると思います。年長者の方とはともかく、若い人はそれほど差別意識は持たれなくなっているような気がします。(無職)

- ◆ 「差別してはいけない」と思っています。(農林漁業者)
- ◆ 生まれ育った地域に同和地区というのが全然なかったので、学生時代までは知らなかった。職場に入ってから研修会があったり、少しずつそのような地区の人だということが耳に入ったが、特別何とも感じなかった。娘の結婚の時、主人がそれだけは調べると言ったが、自分は固く反対した(恋愛結婚でしたので)。(無職)
- ◆ 最近、同和についての話は聞かないが、町名の変更・道路の改修、広場の整備等地域のイメージを変えること、特に町名を変更すること、道路を変更させることが重要だと思います。(無職)
- ◆ 若い頃には講演会や研修会に積極的に参加していたが高齢になり参加しなくなり世の中の動きがつかめない。(無職)

年齢未回答

- ◆ 差別自体あってはならないものだというのはわかる。が、その地域に特別な思い出があって、よく思わない人がいるのも事実だし、それ自体は悪いことではないと思う。差別問題が取り上げられるとき、ごくたまに思考まで強制してくる人がいるのが私は嫌だと思う。腹の中で何を思ってたって自由なんだから、それを態度に行動に出さなきゃいいと思う。(無回答)
- ◆ 深く考えたことが無い(無回答)
- ◆ 知ってる人がいなくなれば無くなる問題だと思うので、学校で教えなければいいと思う。(無回答)
- ◆ 今の義務教育(小中)において同和問題、ましてや部落差別について学習する機会は何もない。だからこそ全教科・全領域で人権について正しく学び、人権意識を高め、行動できる児童・生徒を育てていかねばならない。(無回答)
- ◆ 差別というより人間の心の問題だと思う(無回答)
- ◆ もうないから「歴史があったんだよ。」でいいのでは?もっと違うことに目を向けたらどうですか?(無回答)
- ◆ 小学生の頃しっかり学んだと思うが、その時も今もなぜ差別されなければならないのか、全くわかりません。潜在意識の中に植え付けられたものはなかなか取り除くことができないということでしょうか。子ども(小学生)の時に学んでおくことは大切だと思います。(無回答)
- ◆ 部落差別をなくしたいのであれば、学校等での同和教育をやめるべきだ。教えるから知ってしまうのであって、知る機会がなくなれば差別は自然と風化していくだろう。もっとも、それで權益を得てきた人たちは、風化させたくないから同和教育に熱心なのだろうけど。(無回答)
- ◆ 学校で学習した頃は、「差別される!」と強く訴える様な事を聞いたり、「今まで差別をされて来たから、これからは優遇されるべき・・・」とか聞いたことがあり、「過去のことをずっと思い続けるんだなあ。当事者でなくても」と思っていた。最近では、同和問題と聞くことも少なくなり、忘れかけている。(無回答)
- ◆ 同和問題で差別意識を持つ人の差別意識を改めることはむずかしいと思います。大人になっても平気で差別的な発言をしている人達をどう意識改革できるのでしょうか。(無回答)

【人権についての自由記述】(順不同)

人権に関する困りごと、日ごろ感じていること、また、行政に対する御意見、御要望があれば、自由にお書きください。

(キーワード：人権教育・啓発、性別、障がい、子ども、高齢者、外国人、病気、刑を終えて出所、犯罪被害者、性的マイノリティ、生活困難者、被災者、アイヌ、ひきこもり、いじめ、孤独・孤立 など)

※回答については、そのまま記載することを基本としていますが、紙面の関係上、一部省略している場合があります。

16～19歳

- ◆ 女性に寄りすぎている。他に手を差し出す必要がある人たちがいると思う。(大学の女子学生など)(学生)
- ◆ いじめ(学生)
- ◆ 差別や人権に過剰に反応し過ぎなところがある。(学生)

20～29歳

- ◆ 今年の2月頃、フィリピン在住の女性と話をする機会がありました。彼女は水とパンではお腹が減ると私に訴え、食費を恵んでくれないかと言いました。職を失い、次の仕事に就くにも保険証を取得するお金がないということでした。なんと言いますか、世界には生活保護も受けられず、今日を生き延びることが精一杯な人々が数多くいることを思えば、このような豊かな国で、同和地区の問題が残っているという事実が悲しいです。恵みを受けすぎて、それが当たり前となり、人が持つべき心を失ってしまっているように感じます。(会社員・団体職員)
- ◆ 性的マイノリティや外国人など、近年は不利益を被る側の意見が報道や情報発信の場(SNS)などで大きく取り扱われるようになった。性的少数者のトイレ・公衆浴場の取り扱いについて、マイノリティの意見の尊重が重視され、マジョリティの側の意見が軽視されてはいないか、一度立ち止まって比較衡量してもよいのではないか。(学生)
- ◆ 日ごろ見かけることはない。しかし、学習した時、とても腹立たしく感じた。障害や言語、文化の壁があって”区別”せざるをえないことはあると思うし、むしろ手助けする対象として区別してあげるべきだ。平等と公平は違う。しかし、差別と区別は別のものであり、差別は絶対に不要なものであると思う。差別問題は実際にあるし、議題にあげるべきことだが、私は不快に支配されてしまうため、したくも見たくも聞きたくもない。
(アルバイト・パート)
- ◆ 行政はSNS上でのヘイトスピーチ防止をもっと強化してほしい。(専門職・自由業)
- ◆ 地域の人からのいじめをなくしてほしい(会社員・団体職員)
- ◆ 私自身もうすぐ3歳になる双子を近くで見っていますが、母親を見ていると、想像以上に子育ては大変そうで、仕事との両立なんてどちらかを少しあきらめないと続けるのが難しいと聞きました。子育てがしやすい環境がもう少し整うことを期待しております。
(アルバイト・パート)
- ◆ 他人の敷地内で勝手に遊ぶ子どもがいて危険だと感じることもある。親も見ている中で公園などの公共の場所を使用せず家の近くの他人の敷地を許可なく使うのは迷惑になる。人権問

題を学び、考えることは重要だと思うが、過度な反応はときに人を傷付ける場合もあるため、そういった注意点についてももっと広めていくべきだと思う。(学生)

- ◆ 日本の政府は外国人には優しく日本人には凄く冷たくて、酷い仕打ちをしてくる。外国人による事故も多発している。すぐにでも対策を行うべきだと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ 自分も、ADHD っのを昔から持ってて今になっても、イライラは抑えれず少年院とか、留置所に入ったことがある。障害とか、いじめとか、色々わかって貰えてないのは、結局は国の考えや、その地域によつての、考え方だと自分は思う。この世の中を変えられるのは、国の1番上に立ってる総理大臣の考え、地域のトップにいる人だと自分は思ってる。国民一人一人が、どれだけ訴えても変えてくれないのが、国のトップや、地域のトップの人。だから、その人達にも同じ苦勞を味わった方がいいと思います(その他)
- ◆ 生まれつき脳に障がいを抱える子と同じ学校の同じクラスで日々を送ってます。私は障がい者への偏見は多少あれど差別はしません。しかし、それでも障がい者には障がい者なりの立ち回りは必要だと思います。周りへ悪い影響を及ぼす様な事は障がい者、健常者共にあってはならないと思います。(学生)
- ◆ 高齢者になると免許返納を勧められるが、山間部に住んでいる高齢者などは移動手段がなくなってしまうため、公共交通機関を発達させるなど、誰もが安全安心できるように整備してほしい。(学生)

30～39歳

- ◆ 誰も孤独にならないコミュニティをこれまでの概念(学校や組織、家族)に囚われることなくひとつは持つておける社会になったらいいと思う。誰もひとりにならないといいなと思う(会社員・団体職員)
- ◆ 子どもが生まれ、これから子どもが生きる社会がより生きやすくなってほしいと望みます。そのために私自身周囲の人や様々な社会問題へ関心を持ち学んで行かなければならないと感じました。(家事専業)
- ◆ 自分自身も障がいを持ち、障がいのある子どもと日々過ごしていて思うのは、人が生活する中で、差別というものは決してなくなならないということです。他人の考えや思いを完全に理解することも、相手が経験してきたことを全く同じように経験することもできないのが人だからです。寄り添おうとするのも、歩み寄ろうとするのも、相手の状況や考えを想像して、あるいは相手が発した言葉から自分なりに良いと思う行動を組み立てて、相手と接します。でもそれは自分の想像であつて、どれだけコミュニケーションを重ねても相手と全く同じ思考にはならない。そのわずかなズレが、誤解や苛立ち・偏見など、差別のもとを生むのだと日々感じています。(家事専業)
- ◆ 安易に他国の真似事をするだけの整備をしないでほしい(会社員・団体職員)
- ◆ 自分が小学生の頃はよく”同和教育”を耳にすることが多かったが大人になるにつれてあまり聞かなくなった気がする。大人になって企業に勤めて、いろんなストレスをかかえると他人とくらべたり、弱い者へ威圧的な態度をとる人が多くなっていると思う。社会の不満が差別を生んでいる。(会社員・団体職員)
- ◆ 様々な理由で多くの人が苦しんでいるのが現状。人権に対して、鳥取県全体で動くことが必要。(会社員・団体職員)

- ◆ 身近なことで言うと、SNS・インターネットでの誹謗中傷などが目立つなあと思います。(専門職・自由業)
- ◆ みんな平等に生きれば(考える)いいと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ 高齢者や生活困難者の方々が、車を運転することが難しい状況下、通院や買い物など生活に必要なサービスを諦めている現状が少なからずあると思います。デマンドバスの利用方法を分かりやすく周知できる方法があれば助かる方々が多いと思います。(専門職・自由業)
- ◆ 小、中学生の不登校が増えているように思う。不登校の子がふらっと気軽に勉強を教えてもらえたり、相談できるようなアットホームな施設が、たくさんあると良いと思う。中小企業では、子どもの看護休暇への理解がないので、もっと広めてほしい。祖母は聴覚障害があり、いじめにあい、学校に行くことができず、手話もジェスチャーで会話が難しく、家族みんなて手話を学べるような場所がほしい。(医療・福祉)
- ◆ 刑を終えて出所した人について・・・過去をよく知る人なら変わらずに迎え入れることができるのではないかと思います。けれど過去にあまり関わりがなければ距離を置いてしまうと思います。DV等で子どもを連れて逃げた人について、大半はDVをされた側が悪いと思いますが、生活保護や手当を目的にシングルマザー、ファザーになっている人もいます。(働きたくないから手当を多くもらいたい人など)定期的に「困難者」であることを証明するものがあつた方がいいのではと思います。(診断書など)←すでに実施されていたらすみません。(アルバイト・パート)
- ◆ アンケート内容を一問一答に変えた方がよい。例えば、「人権は十分に尊重されており推進する必要がない」という問に対して、十分に尊重されていることに対して、そう思わないと答える人もいれば、推進する必要がないに対して、そう思わないと答える人もおり、適切な集計結果にならない可能性がある。つまり上記の例の場合は、二つの問いに変更すべきだと思う。(公務員)
- ◆ ひとつ気にすれば言い出したらキリが無い。だが、それではいけないと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ 人権をベースにした包括的性教育がもっと広まっていくべきだと思う(教職員)

40～49歳

- ◆ 私は外国人ですが、数年前まで会社の上司に毎日のように暴言、暴力を受けていました。日本人の夫が見かねて上司と役員に抗議をして今は無くなりました。また、会社内に特定技能で働く外国人と技能実習生として働く外国人があり、仕事量に差をつけたり、同じミスをしなくても実習生には厳しい口調で怒ったりしています。労働資格が違うだけですがご差別を受けていると思います。地域の皆さんは私に親切にしてくれてありがたいです。(会社員・団体職員)
- ◆ 障害者手帳を申請して(更新ですが)、出来上がるのが日数がかかってしょうがない。診断書も1万ちょっとかかるので、もう少し安くないのか。(医療・福祉)
- ◆ 差別を受ける側が何か差別部落のせいにするところがあると思う。犯罪者は自分の意志で行ったことであり自己責任と思う。生活困難者については助けてあげてほしい。でも実情少しそうでない人もいるようなので、調査は行ってほしいと思う。障がいのある人が今後自立して支援していくようにしてほしい。現在立場を利用して金儲けの道具にしか企業を使ってい

ない。それをわかっていて助成金を払っていますか？少し実態を見たらどうですか？

(役員・自営業者)

- ◆ 子育てがしやすい県と聞いていたが、小学校から、塾・公文 etc、習い事をたくさんさせて親が送迎している事にびっくりした。今まで暮らしていた場所は、塾は補助金が出るがあったが、行かせる親はいなかった。子どもに手をかけすぎると、自分で自分の壁を作ってしまうひきこもってしまう事もあると思う。親以外の大人にもたくさん怒られたり、関わりを持つようにならないと、ひきこもりも孤立・孤独もなくならないと思う。(医療・福祉)
- ◆ 不登校に対する偏見で苦しんでいる方が多くおられるように思います。年配の方など特に理解して見守ってくださる方が増えたらなと思います。例) グループ活動ができない子は社会に出てもやっていけないなど、親以外で言われると追い詰められたりしてしまうのは、人権につながるのでしょうか？(教職員)
- ◆ 同じ人間、皆が幸せに過ごせる・生きられるように、自分だけが良いではなく、みんなが良いとなるように、社会を少しずつ整えていくことが大切だと思う。(医療・福祉)
- ◆ 生活困難者ということで生活保護の申請をして受給している人に対して、行政はもっと厳しい目で見るといい。本当に困っている人であればいいが、生活保護受給のために働かず、昼間からパチンコ行っている人、結構います。私たちの税金がそんな人たちに使われていると思うと、とても腹が立つ！！行政の人たちはちゃんとチェックしてますか？そんな人に受給しなくていいと思う。周りの人たちで、この話よく出ます。ちゃんと働いて税金納めているのがバカらしくなる。行政はちゃんとチェックしてください！！(アルバイト・パート)
- ◆ 障がいがある方も生活しやすい世の中になれば良いと思います。また、差別があり、それに気付いていない方、平気でそういう発言をする方もいると思います。どうにか変えていくことができないかと思いますが、ただ私は常に「相手の立場になり考えること」をなるべく心掛けてはいます。ですが、私も多分自分の気付かないところで人を傷つけてしまっているかもしれません。(会社員・団体職員)
- ◆ 自分が人権侵害をしている・されているということについては、知識がないとその判断もできないので、教育ということが非常に重要だと思う。どのような言動が人権侵害にあたるのか、日常よくある場面での具体的なやりとりを提示して「これよくやっているけど人権侵害だったんだ！」と、見た人が気付けるような工夫があればいいと思う。県の施策に期待しています。協力しますので頑張っていきましょう！(専門職・自由業)
- ◆ 犯罪をした人の方が被害者より守られていると感じられる事がある。差別についても学習する子供は一部だけ。なぜ皆でしないのか。一部だけ分かって大半は知らなくて何がしたいのか分からない。いじめについても同様(無回答)
- ◆ 刑を終えて出所、犯罪者に今まで出会った事がないが、重い犯罪を犯した人が近所にいると聞くと不安や心配はあると思う。犯罪によっては再犯率の高いものもあるので警戒してしまうような気もする。最近の司法にも納得できない判決も見受けられる。(会社員・団体職員)
- ◆ 人権に関する学習においては、「～しない」「許さない」のような禁止・否定的なメッセージでなく、「～するともっとよくなる」のようなプラスに変えていく・肯定的なメッセージが増えるとよいと思う。(ポジティブに考えるような) 人生や人間関係を明るく変えていけるモチベーションを高めるものになるとよいと思う。(公務員)

- ◆ 人権・人種差別が当たり前の中世ヨーロッパが、現在は「ちょっと太った？」すら言えないようになった現状。白人社会ではどのような教育を施したのか？そこに活路はありそうです。ただ、この世の中に完全な平等なんかあり得ないことは理解しておいた方が良いかと思います。一人ひとり違う人間に平等の押し付けは危険。その人その人と向き合うことが大切。(役員・自営業者)
- ◆ 外国人が増えていく中、どう共生を図っていくのか具体的な方策を知りたい。一時的なイベントは盛り上がるが、日常でどのように地域と外国人コミュニティの関わりを築くのか？(教職員)
- ◆ 自分と他人との違いを認めることで他人への理解ができるのではと思う。(アルバイト・パート)
- ◆ 人権を守る活動によって、社会が良くなってきた面もあるが、最近、性的マイノリティやアイヌなど、いろいろあれもこれもと出てきて、自分を分類して権利を主張するのは自由ですが、日本人として社会できちんと義務を果たし、社会全体のことを考慮しながら言動してほしいと思います。社会も変わるけど、各々自分自身も何らかの努力をし変わらなければ、皆が協力し合う幸せな社会は築けないと思います。偏った人権教育になってしまわないよう慎重に進めてほしい。政府も含め、損得ではなく善悪で行動する、助け合える日本の社会になってほしい。(農林漁業者)
- ◆ 日頃、人権に対して意識していないことが多いが定期的に学習(研究)する必要があると感じている。今後、機会があれば会に参加したい。(会社員・団体職員)
- ◆ 子どもが不登校だが、学校以外の居場所や親の会を学校・行政からの情報提供がなく、自分で見つけていくしかなかった。ぷらっとホームが学校経由となった2年前くらいに見学の意志を学校から伝えたら「しっかり通う意志があるなら来ていい」と暗に断られた。ハードルが高すぎる。誰でも通える場所じゃないのか？施設側が選別するんですか？健康診断が受けられない。5年間うけてない。歯科検診を学校指定外の病院で受けたいといったらダメだと断られた。何の目的で検診してるのか？子どもの健康把握する以外の意味はないと思う。病院が違っていいと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ 5分で終わるはずのないこのアンケートにより受けたストレスがハラスメントにあたらないかどうか。(教職員)
- ◆ 自民党は外国人優遇しており、自国民をなんだと思っているのか理解できない。納税の義務を果たしている以上、幼い時から政治、選挙に対する意義など教育をするべきだと思う。選挙制度にも疑問を感じる。(医療・福祉)
- ◆ 人権被害って例えば子供に影響があった場合その母とか被害したものだけに焦点が当たるがその周りは何がサポートはなかったのか行っただけも疑問に思う。周りにも少しサポート支援がある世の中、孤立しないように社会全体で見えていく事が足りてないから被害者がいっぱいいたになって犯すのだと思うそれが弱い立場の人に影響されたのだと思う(医療・福祉)
- ◆ 個人によって感じ方がそれぞれあるので、押し付けてしまっているかもと思う事もあり難しく考えてしまいます。(アルバイト・パート)
- ◆ 言葉の持つイメージにとっても差があると感じる。人権と聞くととても堅苦しく日常生活と離れた印象が強い。それは、家庭内での使用頻度が低く、初めて聞くのは学校など勉強の延長だからではないかと感じる。そのため自分の言動や行いが人権とどう結びつくのかピンと

こない。しかし、勉強の延長での入り口であっても、その後家庭内や友達、地域で話すきっかけがあると自分の言葉になると思う。それは大人も同じ。(公務員)

- ◆ 色々な場面で男女平等ではないと感じる。(医療・福祉)
- ◆ 人権、権利について、間違っただけの理解、都合のよい使い方を正していくべきである。人権(思いやり)は大切にすべきもので、権利は過度に主張すべきものではないと考える。権利ばかり主張する大人がいるから、大人も若い人も間違い、勘違いし権利ばかり主張するようになった。カスハラが注目されて当然である。大人が大人になれていない結果であろう。行政は啓発活動に努めるしかないのではないかと思う。(公務員)
- ◆ 関西から移住して8年目の男性40代です。鳥取の集落に移住して都市部より、女性の扱いが前時代的だなと思う事が多々あります。昭和の考えのままでは?と。高齢者の意見を変えることは難しいと思いますが、人口減の鳥取で、移住者を促進せねばならない状況にある中、移住先がこれでは足を引っ張りかねないなあと危惧しています。(農林漁業者)
- ◆ 人権とはなにか。その学習があまりにも疎かになっていると思います。「〇〇は人権侵害です。差別です」という前に根本的な人権とはなにかの学習をもっとしっかりしなければいけないと子供を育て学校機関等の人権学習を見て、子供たちの言葉を聞いて思いました。人権は矛盾が生じます。例えば介護現場などで「〇〇は利用者様への人権侵害です」等のポスターをよく見かけますがそれを見て私は介護士の方の人権は?と疑問に思いますし、実際知人の介護士は「私達介護士は人権がない」とよく言っております。介護される側、介護する側両方の人権を守るのはとても難しいことだと思います。そういう矛盾が生じること等の現実を綺麗事ばかり並べて見えなくしている教育はダメだなと思います。あと被害に合われている一部の方の声が大きすぎてその問題の本質が見えなくなっているのを感じます。セクシャルマイノリティしかり在日問題しかりです。当事者が周りにおりますが声の大きい方のせいで非常に迷惑されていて、余計に差別されているのが現状だと思います。人権、差別問題が利権ビジネスになっていると当事者の声や色々なニュースなどを見ると思います。そういうもののせいで本来の人権問題が見えなくなっていると強く思います。人権問題は私の人生の突き詰めるテーマのひとつにしておりますこの先も色々な場面角度で真摯に向き合っていくと思っております本来の人権問題、それぞれの差別の本質などがしっかりと見える形で正当な議論がされる世の中になる事を切に願っています(医療・福祉)
- ◆ 鳥取市は上記キーワードを支援するような社会資源が少ないと感じる。実はたくさんあるのかもしれないが、それであれば情報を発信する方法が足りないのかもしれない。(公務員)
- ◆ 人権問題よりも力を入れてしなければならない取り組みがある手取りが少なれば心まで貧しくなりギスギスした世の中になってしまう(公務員)
- ◆ この問題について十年くらい前に自分で調査し、テレビや学校で教えてもらった内容は全てが正しいことでは無かった事に気付いた。しかしながら、事実は闇が深すぎて学校やメディアでは取り上げることは出来ないことも理解できる。また、日本は、外国人を優遇しすぎている。外国人の生活保護もそうだが、クルド人の問題をメディアで大きく取り上げない事に違和感を感じる。大事になる前に、在日外国人問題に時間と予算を使って欲しい。根が深くなると新たな差別問題が発生する可能性があるので、毅然とした対応で速やかに対応して欲しい。(会社員・団体職員)

- ◆ 公平と平等、差別と区別の意味を履き違えて、または個人や所属組織の都合の良い解釈、利用をしている限り、根絶は不可能。また行政は神では無いのに、行政を通じて他人の内面にも影響を試みる活動には嫌悪感しかない(会社員・団体職員)
- ◆ このアンケートの記述の仕方に偏りを感じました。人権についてしっかりと考えるためには、言葉尻や、切り抜きなどに惑わされないように国語力、考える力の育成が必要だと感じます。(その他)

50～59歳

- ◆ 次女が、中学生の時、入学してすぐにいじめにあい、不登校から別室登校で3年間過しました。別室登校時の学習環境がよくなく、基本自習で、学習の進め方学習補助なども、確立されておらず、本人は勉強する意欲はあるものの、高校受験できる学力になるまでは大変だと感じました。教室に入れなかったら、学習機会がないのだとも思いました。
(アルバイト・パート)
- ◆ 難病を抱えている友人がいます。治療費も高額です。大変です。生活をきりつめて、治療費を捻出されています。一方で不正な申告で制度を使いのおうとうと生きておられる方もいます。この不公平さを解決してもらいたい。真面目な人が損をする世の中であってはいけなと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ 昨年、鳥取県のある意見交換会をする委員に選ばれました。そもそも女性が少ないということもありますがその委員会の女性の割合が少ないといけなという事を聞きました。その委員会にどうこう思いませんが日本全体で「女性が何割いないといけな」という考え方に逆に差別を感じます。内閣府の男女共同参画によるものと思いますが・・・男女は身体づくりや機能が違うので100%平等とはいかないと思います。私は仕事ばかりをして生きていますが、子供を生んで、子供の成長に父親よりかわられることは女性の特権だと思います。
(会社員・団体職員)
- ◆ 私は運良く健常者であるが、例えば車いす生活を想定したとき、今の社会は生きづらいに違いない。あまりにも環境が整備されていない。車いすに限らず、あらゆる障害者に対して言えることだ。自分が障害者になって初めて気づく、のではなく、普段から障害者に対して思いを寄せることが大切だと思う。(会社員・団体職員)
- ◆ 夫婦別姓や性的マイノリティに関する事が全く前進していない気がしています。政治家をみると、大半が高齢者。頭が固いのか考え方を換えられないのか・・・?!多様化する仕事の中で結婚しても夫婦別姓が都合が良いという話をよくききます。これも進展しないのはある意味、差別なのでは?!と思います。(教職員)
- ◆ ひきこもり、いじめの孤独・孤立の支援が今後更に必要となる。かけ込み出来る場所を明確にして情報発信を行っていただきたい。知る人ぞ知るでは困っている人に届かない。(医療・福祉)
- ◆ 障がいのある人や病気、ひきこもり、生活困難者への相談する場所相談しやすく、誰でも行きやすくしてほしい。職場や、まわりの方々の理解、職場での相談役など、サポートする人を各会社に一人ほしい。(その他)
- ◆ この本いいよというのがあれば教えてほしい。(無職)

- ◆ 性犯罪者の情報は公表してほしい。再犯確実だと思うから。差別といわれるかもしれませんが、このことは本当に真剣に考えてほしい。（個人的意見としては、性犯罪は無期懲役にしてほしい）。犯してしまったら二度と出られないようにしてほしい。（アルバイト・パート）
- ◆ 誰もがその立場になってみないと分からない、考えないことが多いと思います。他人の気持ち、痛みなどを思いやることの出来る人間になるよう、人を育てることが大事だと思います。それがどのようにしてと言われると難しいですが。（農林漁業者）
- ◆ 性的マイノリティやLGBTQなどの施策はさっさとやめるべきです。男性、女性、子供のトイレを共同にするようなLGBTQの発想は、世界経済フォーラムのメンバーである、世界の悪人たちが変態であるため、自分たちの主張、嗜好を広めるための手段であることを、行政は理解しなければなりません。トランプ大統領が発言したように「人間は男と女だけ」です。レズ、ゲイ、バイ、トランスジェンダーは個人の自由であり、それを否定はしませんが、それを一般人に押し付ける方策は間違っています。（公務員）
- ◆ 社会人になり人権学習の機会が減っていますが、地域の役員となり継続的に学べるようになりました。一方で、全く学ぼうとしない方々の差別的な発言が身近にあります。この二極化のような現実にも問題があると感じます。（役員・自営業者）
- ◆ 行政が差別的なことを行っていることもあるのではないかと思います。（その他）
- ◆ 人権を守るということに意識が向きすぎて、“こうでなければならない”とか、“守らない人は悪だ”のような極論に近い考え方があるように、思われることが良く見られます。そもそも、人はそれぞれ自由でいいのではと思うのですが、常識だとか世間の正論に当てはまらないことをすると、SNSなどでは叩かれたり、社会や組織でははじかれてしまいます。不適合を作っているのは自身の中にあるのでは……。人はみな自由であって良いのではと思います。（家事専業）
- ◆ 職場ではカスタマーハラスメントが多く存在していると感じる。そのカスタマーは60代以上の男性が多数を占めるので、「またおじいさんか…」とってしまうが、これもこちらの決めつけなのだろうかと思ってしまうこともある。「こういう行動はカスハラなんですよ」と高齢男性が理解できるような啓発はないものでしょうか。（公務員）
- ◆ 自分自身、人権侵害にあったことがほとんどなく、実際そういった過去をお持ちの方も周りにいないためか、どう共感したら良いか正直わからない。我が子は発達障がい者だが、行政・病院・学校が足並みを揃えて協力し、情報を常に共有してくれたし、周りの保護者や子ども達も助けてくれた。恵まれていた。いつか自分も誰かの助けになりたいと毎日頃心にとめている。（医療・福祉）
- ◆ 外国みたいに、カウンセリングタイプのメンタルクリニックが普通にあって、第三者に誘導してもらいながら、自分の中で正しく（人として）（常識の範囲で）判断できるような、話を聞いてもらえるような場所がたくさんあると良い。難しいけど…。行政相談・法律相談・人権相談、お気軽になって、なかなかどの程度で行けばいいのかわからない。（家事専業）
- ◆ 子どもの頃の教育は必要だが、知ることにより差別が出る場合があるので、教育のやり方も大事だと思う。ひきこもり・孤独・孤立など、一見まわりからわからない問題や家庭では難しい問題をサポートすることも大事。（役員・自営業者）
- ◆ 人権に関する調査にも関わらず、なぜ最初からふりがな付きにしないのでしょうか？紙面の関係等あると思いますが、読むことが難しい方はわざわざ連絡しなくてはいけない。おそら

く読めないことを気にしておられる方もいらっしゃると思います。「読めないので…」と連絡しなくてはいけない。これも悲しい思いをされるのではないのでしょうか。親しい方に読んでもらって答える場合、その人には考えを知らせないといけません。配慮がされているのかいないのかよくわかりません。(公務員)

- ◆ 鳥取県で外国人をあまり見ないけど、大阪・東京は外国人だらけで怖いと思う場面がある(その他)
- ◆ 人権皆が平等の社会とても大きな問題ですね。SNS、ネットがとても便利なことですが使い方を間違えると恐ろしく正解なのか嘘か……。傷つけてしまう場合もあり、情報もフェイクなのか、自分自身しっかり考えようと日々思っております。窓口がわかりやすく、(上記にあがっている方達)悩んでいる方の尋ねやすい場所情報があれば糸口が見えるのではないかと思います。日頃のまずはあいさつ声掛けなどしていくつもりです。(役員・自営業者)
- ◆ 人権ばかり尊重して、事故事件があるので、人権もどこまでが人権保護かわからない(公務員)
- ◆ 差別を受けても訴える事のできない人がとても多いと思う誰でも気兼ねなく相談できる機関の設立と周知が必要だ(役員・自営業者)
- ◆ 助けを求める人たちを一人でも多くすくって欲しい(役員・自営業者)
- ◆ 共存社会の中、障がいが無い人も障がいがある人も、「人」として過ごすことは必要だと思う。障がいがある人が障がいが無い人を傷つけることもあるし、その逆もあるが、人として自分はどうか、どうするべきかを考えることが必要だと思う。障がいがある人(話せないが耳は聞こえる人)が不安で頼りにしてこられた時、全て私がサポートするのではなく、普通に、できることは本人が筆談で問いかけていたので…。見守っています。(無回答)
- ◆ いろいろなテーマの人権研修に参加している。その都度、自分自身の言動を振り返って考える良い機会となっている。学び続けることが大切だと思っているので、これからも地域や職場の研修に参加していきたい。(教職員)
- ◆ 義務教育において、正しい理解のための同和問題の学習は必要であると感じる。市教委や他校から専任の教員が学校に出向き講義するなど、配慮もすべき。(公務員)
- ◆ スポ少で指導者から些細なことで怒鳴られ、それが特定の子に対してだけで、ストレスでの痛みを訴え、それもなまけていると怒鳴り、退部することになった子がいた。今もPTSDで、通院している。このような事例は多くのチームから聞くが、指導者はボランティアなので保護者が改善を求めにくい。スポーツ振興課の方が試合を見に行く、NO スポハラのパスターを試合会場に掲示するなど対策をとっていただきたい。傷害事件と言っていいほど、ひどい目に子どもはあっています。私の子どもも理由を説明されず、怒鳴られる日が続き、卒業してから「あの頃は心の中でいつも泣いていた」と言ったことがあります。小学生の時はずっと大丈夫としか言いませんでした。そのような目に子どもがあわないように対策して下さい。(医療・福祉)
- ◆ 障がい者施設に勤務していて、実際支援の必要な人達をたくさん知っています。浅く広く支援ではなく、本当に困っている当人によりそう支援をしてほしい。(医療・福祉)
- ◆ 最近はネット等で匿名での書き込みにより、人権侵害するケースが多いと思う。そういった人の取締強化が必要だと思う。(農林漁業者)

- ◆ 障がいを持って生活していくことの難しさ。通院にしたって、バスの時間があわないので、通院だけでも1日かかります。今は母親と一緒にいますが、1人になった時の不安が心配です。妹もいますが、病気のことをあまり理解していないので、説明するのが大変です。今はひきこもりがちで、家族しか相談できる人がいません。社会復帰が目標でしたが、その目標もどこかにいってしまいました。はやく元気だった頃にもどりたいです。(無職)
- ◆ 何に対しても知らないと言うことは、自分が何をやっているか、わかっていないということにつながると思う。苦手だと思ふことはあり、さけてしまうことも多いので少しずつでも知っていこうとするようにしたいと考える。(教職員)
- ◆ 「刑を終えて出所」した人の場合、再犯者がいる中で犯罪内容によっては怖いと思ってしまうと思います。外国人の場合、日本のマナーを基準として見てしまい、スーパーで買ったものを袋詰めする前にその場で食べ始めているのを見かけると、マナーの悪い人と思ってしまう。このときに「外国人は」と。マナーの良い悪いを公平に判断するのが難しいです。日常生活の中で自覚なく差別的な視線を送っていることもあると思います。個々の思いや考え方が全員完全一致することはないので、難しい問題だと感じています。
(会社員・団体職員)
- ◆ 問2(4) まだまだ男性の意見や力が大きいと思うので2にしましたが将来的には変わっていけば良いと思う(家事専業)
- ◆ JRで通勤していますが、障がいのある方に対する接し方に、難しさを感じる場合があります。席をゆずる時、目の不自由な方へ声をかける時など、スマートに声かけしたいのですが、大丈夫ですと断られることもあるので、むずかしいなあと思ってしまうのですが、気にせず声かけしてみようと思います。いつ自分が当事者になるかもしれないので、みんなが協力できる、あたたかい社会になることを願います。(公務員)
- ◆ 女性の役割について、家事をするもの、育児するものという考え方がある。仕事を待つ母親を支援する保育士が、母親が出張して子どもから離れるのは可哀想などの考えを持っている場合がある。母親にも社会的役割があることを理解して職務に就くべきだと思う。年配の女性がこのような発言をすることが多い。家庭においても年配の人がこのような考えが多い。女性の負担が多いため子どもを生みたくない人も多いと思う。いわゆる母親像が女性を苦しめている。(医療・福祉)
- ◆ 高齢者は「引きこもる」方が多いように思う。家族として何とかしようとしても、家族だからこそ言うことを聞いてくれなかったり、難しい。公民館でなにか行っても、本人が行かなければ意味もない。高齢者の人数は非常に増え、行政担当者では捌ききれないということもとても理解しているが、どう対応すれば良いのか？何か良い方法はないか？と日々思う。
(その他)
- ◆ 差別禁止や人権問題とは言うが、その事での制度を悪用する人は無くならないし。
(医療・福祉)
- ◆ 議論の場に於いて、逆説的に差別必要論をあえて展開し、議論を深めようとしたが相手が途中でキレて、ボロクソに罵倒された。結局この方々は多様性を認められないポジショントークなんだと感じたので、あまり具体的な学習は意味が無いと感じている。(その他)
- ◆ 選挙の立候補予定者に対する誓約書の提出は、参政権に義務の強化と権利の制限を設ける運用である。参政権は基本的人権の中でも、別格であり慎重な制限と運用が求められる権利で

ある。制定も運用も厳格に行われるよう注視したい。また知事にも丁寧な説明を求めたい。
(教職員)

- ◆ 私は子どもがいないので実態は知らないが、いじめはなくすようにしてもらいたい。かわいそうすぎる。(医療・福祉)
- ◆ いじめに関しては、子どもが小さい頃から「いじめ問題」を学び、いじめから抜け出す方法を学ぶ必要があると思います。親が子どもの変化に気付く必要もあります。子どもの様子がおかしいと思ったら、いじめが加速する前に学校や行政に相談するのがよいと思いますが、学校や行政が真に受け止めていただけない事が多々あると思います。(会社員・団体職員)

60～69歳

- ◆ 5月と9月の小学校の休みの件で、子どもがみられない親の数など調べて再度考えてみてください(休みを入れるかどうか) 困っている親子さんはたくさんいます
(アルバイト・パート)
- ◆ 障がい者に対するサポート(ボランティアサークル)の照会等をもっと広くしてもらいたい。(アルバイト・パート)
- ◆ 話をする事で自分の中にあるもやもやがふっきれるのであれば聴き手に徹するので、どんどん話して下さい。そんな場所があれば(会社員・団体職員)
- ◆ 人それぞれ考えがあり、行政や法人などでとりきめて型にはめて”正しい姿”を提示する姿はすきではない。外見だけの表むきの姿になってしまうこともあると思う。(無職)
- ◆ 行政に相談しても解決にならないという意識があるため、あきらめているというのが実情です。細かいことですが、相談に行っても、区長を通して言わないと聞く耳持たず→相談しても聞いてもらえない。となつて、平等なサービスを受けられていないと感じます。税金だけは払わされて。(ゴミ収集場が、車で行かないと遅すぎて、これから、年取り、車運転できなくなると、ゴミも捨てられなくなります。せめて歩いて行けるところに平等にゴミステーションつくってほしい。)(アルバイト・パート)
- ◆ パワハラ、セクハラ、児童虐待などの人権問題に加えて、近年では、ヘイトスピーチ、カスハラ、インターネット上での誹謗中傷、クレマーなどの新たな、人権の問題が起こっており、憂いております。みんなが人権について学び、一人ひとりの人権が尊重される社会が実現することを願っています。(無職)
- ◆ 私は、誰に対してもできるだけ普通に接したいと思っています。障がい者の方が、廻りの人から手助け(支援)を受けることを当たり前のように思っているのでは、と感じたことがありました。正直、いい気持ちがしませんでした。やはり、お互い感謝の気持ちを持つことが必要だと思います。(アルバイト・パート)
- ◆ 「パワハラ」「セクハラ」などの「ハラスメント」について学ぶ機会がありましたが、これもハラスメントにあたるのかとびっくりしたことがあります。ハラスメントについて冊子を作って、家庭に配ることも必要かなと思いました。(会社員・団体職員)
- ◆ LGBTについて外国での取り組みについて、国連が進めようとする動きに違和感を持っています。例えば未成年者の性的行為を認めようとする事や、性転換した人のオリンピックでの容認など、人権人権といえ、なんでも通すことできる法的なしくみを作ることは決していい

とは思えません。道徳は人はどうあるべきかと基にして考えることが大切だと思います。

(医療・福祉)

- ◆ 性的マイノリティ→個人的には考えられない。引きこもり→その人個人の問題もあると思う。(役員・自営業者)
- ◆ 人権問題はなくなる。(アルバイト・パート)
- ◆ メディアが特定の事象をとらえて大騒ぎするのはどうかと思う。(農林漁業者)
- ◆ キーワードにたくさんあるように多様化しており、正直よくわからないことが多いが、基本は一人ひとりが相手を尊重することだと思う。(無職)
- ◆ キーワードに対して「人権」の一言で対処することは、広くて深くて難しいですね(役員・自営業者)
- ◆ 自分の勤めている職場に「請負」の型で人材派遣の会社の方で、様々な障がいのある方ばかりが来られていて作業されているのですが、よくトラブルがあるようです。対象の人と派遣会社の役職の人と話し合いが行われているのですが、我々会社の人間がいても、相手の方を非難するような言い回しをしたり糾弾にも似た言い方をしているところに何度か遭遇しました。障がい者雇用をすすめていると言われていた所長さん自ら、相手のその子に対して責めるような言い方だったので、とても嫌な気持ちになります。(会社員・団体職員)
- ◆ 身近に長期的なひきこもりがおられる。何とか支援できないものかと思っている(無職)
- ◆ 人権についてよく考えてみたことがない。(農林漁業者)
- ◆ このような調査こそ、なんで？寝た子を起こすな！(役員・自営業者)
- ◆ 支援学級に対する偏見を感じることもある。まだまだ正しい理解がなされていないのでは…と悲しくなることがある。特に年齢の高い人、本人の父母など…。教育現場と世間のギャップは埋められないのでしょうか。(教職員)
- ◆ 職員はもう少し仕事をしましょう(無職)
- ◆ アンケートの、研修や講演会の対象が過去5年間となっていますが、ちょうどコロナ禍の始まりとなり、それまでは地域の人権研修会等時々参加していましたが、コロナ禍で様々な行事等が中止となり実施できない現実があったので、5年間と制約されるのには答えにくかったです。狭山事件等、成人となった私が入権問題などで学習した衝撃的な事件でした。石川一雄さんが冤罪が晴れぬまま86歳で亡くなられたのは本当に残念でなりません。歌手の氷川きよしが前の方が男らしくて良かったと思えるのは、ジェンダーレスでやはり自分の中にもどこかに差別心があるのだなと反省しています。(家事専業)
- ◆ 昔に比べると、最近是人権問題をまわりが気にしなくなっていると思います。私もコロナ禍の中から外出をしなくなっているので、あまり問題にしない。皆がインターネットを見なければいいと思います。(無職)
- ◆ 生活困難者を助けること。障がいの生活を助けること。よろしく。(無職)
- ◆ 個人企業に勤めているが、経営者の男女差別的な考え、決めつけなど勉強不足を感じている。(会社員・団体職員)
- ◆ 差別と区別を明確にする。(役員・自営業者)
- ◆ この世に生かされている人々、何故おたがいを分かりあわないのか？(会社員・団体職員)
- ◆ SNSなどの書き込みをもっと厳しく罰する必要がある。書き込みは記名式か、発信者が簡単に分かるようにするべきである。(アルバイト・パート)

- ◆ 双方の意識のズレ、理解不足(アルバイト・パート)
- ◆ 行政がしてきたことは多数あるのですが、今一つパツとしない印象です。お役所は基本的に世の中の変化に対応するのが苦手な感じです。市民の声が入り口で止まっているように感じます。(無職)
- ◆ 回答という形で一言では書けません。ただどんな人に対しても今の世の中は敬意を持って接する事が希薄だと感じます。(その他)
- ◆ 仕事上、障害のある方と接することは多いです。障害のある方に過去に不快な体験があったのかわかりませんが、人に対して見下されないように威嚇したり、命令口調だったり、怖い方も少なくありません。ますます孤立しないように国から柔軟な精神的なサポートも大切かもしれません。(医療・福祉)
- ◆ 被差別部落の対策をしなければならないが、こういう事を語っていくことが被差別部落を世間に広める事にもなるので、難しい問題だと思う(アルバイト・パート)

70～79歳

- ◆ 個性が尊重される世の中になってほしいと思います(医療・福祉)
- ◆ さわぎたてる方がおかしい!!(無職)
- ◆ この頃は差別の無い社会になったと思います。(役員・自営業者)
- ◆ 人権教育はどの時代でも必要であると思います。(無職)
- ◆ 様々な家庭がありますので、家の中は中々見えないものです。他人が入る余地がない場合もあり、なかなか難しいと思います。相談でもあれば力になれるかなと思います。(専門職・自由業)
- ◆ (子供に対する)親の教育です。(無職)
- ◆ 東京都におけるコラボ問題に代表されるように、人権問題を掲げて公金チューチューするような、あやしい団体が結構あるんじゃないかと思う。利権構造になっていると思う。(無職)
- ◆ 職場で人権意識を高める教育に時間が割かれているんだろうか?(無職)
- ◆ 人として生まれてきている以上、人生いろいろな変化が起こることがあっても、尊厳という言葉を意識して生きていかなければならないと思います。今、目から耳からいろいろな情報が入ってくる時代だから、知る権利を活用しながら学んでいく姿勢が大事なんだと思います。あたたかなまなざし、するどい視点が重要かと。(無職)
- ◆ 行政機関のいじめに対する対応の悪さが目立つ。隠す、ごまかす、放置が多く、児相、学校、警察等が特に多い。日本社会の劣化が急速に進行しているが、言い訳ばかりがまかり通り、改善の姿勢が見られない(特に政治の三流化がなげかわしい)(無職)
- ◆ 日本全体としてバリアフリー化が進んでいない。(無職)
- ◆ 他人のうわさを鵜呑みにする。不確かな事をまた誰かに伝える。これの連作誹謗中傷が無くならない訳だ。小学生から大人まで物見高い人による人権侵害だと思う。(無職)
- ◆ 両親が愛情を持って見守り育てていれば必ず心が豊かな子に成長すると思う。(無職)
- ◆ 新聞やニュースでよく目にする子供に対する虐待がどれ程多くなっている事か。それにより大事な大事な子供達の命が失われている事。そしていじめによる子供達の自死。大切な命を守る為には、もっと行政が立ち入っていくべきである事。またそれらの根本となる貧困や心の問題等々を簡単に解決できないという事は理解できるが一般的に見たところ手ぬるいとい

う感が否めない。何かひとつでも救っていただける様に、ひとがんばりしてもらいたいと思わずにはられません。(家事専業)

- ◆ 差別はいけない事とわかっていても、本音と建て前があるのも仕方がない事です。ただ、他人より優位に立ちたくて差別してしまう人もいます。正しい知識を身につけることは大切なことですが、正常な精神状態でいられることが、正しいことは正しいと思えると思えます。なぜなら取り巻く環境が厳しいものなら卑屈になったり交流を嫌ったりすることもあります。社会環境や地域性によっても1人1人の心理状態が変わってくるのでは。生きやすい社会になれば差別も減ってくるのではと思います。(教職員)
- ◆ 議員の中で平気で差別発言をしても、開き直っておられるが・・・このような議員を罰することができないようでは、このような調査をしても・・・意味がないのでは・・・法律を自分達で作っても、その法律さえも守れないような議員が・・・のさばっているようでは・・・と思います。(無職)
- ◆ 一部の市民団体等が人権差別等を煽り、それを金を得るための手段として使っている。そして年々(ここ約5年位前)にはげしくなり人権、差別を言っていれば生きていける世の中になってきている。これでは普通の人々がたまったものではない迷惑である。今後は自制するようにしていただきたい。逆差別にあった事がある。そしてそれらを自分で自慢している様に見える(腹が立つ)。(その他)
- ◆ 別になし差別することや同和問題考えた事がない。(アルバイト・パート)
- ◆ 高齢者の1人暮らしに、留意する。例、家事、健康等(農林漁業者)
- ◆ ①外国の方も多くなり、どう接すればよいか、心配になる。②行政の人権教育がどこがやっているのかわからないことがある。(法務省なのか総務省なのか?)③デジタル社会になり、個人々が、皆と面と向かい合う機会が少なくなるので心配。④途中で(病気ケガ)障がい者になった人達の人権も考える機会をもうけてほしい。(家事専業)
- ◆ 数人集まれば、遠まわしに「らしいよ、知らないけど」で詳しく知らない情報をきり出し、更に情報を得ようとする場面が多い。味方のふり、同情のふり興味本位、自身が逆の立場になったらと思わないのかなと考えさせられる。都会より田舎の方が多いのかな……。誰にも特別扱いはしない。下手な同情はしない。しゃべりすぎないとしています。この位なら行政には届かないでしょうが。(無職)
- ◆ どの人がどういう具合に困っているのかわからない。あまり世話をやきすぎると、迷惑かもしれない。助けが必要なら、いくらでも相談にのりたいです。(役員・自営業者)
- ◆ このようなアンケート調査があるということは、現実には差別があるということでしょうか?教育の現場と家庭での教育でなくなっていくような気がします…。人間としての基本を話し続けることだと思う。例えば、挨拶、相手を思いやる気持ちとか…。(無職)
- ◆ 部落差別は江戸時代を起源に脈々と続いています。脈々と流れる(流す)意味があるのでしょうか?もうこの令和の時代に「同和地区」という呼び名を死語にしたい思いです。人として生まれ皆平等であるべきなのに、言われなき差別を受ける理不尽さをなくさねばと思えます。人が人を差別するのは、自分が優位に立つこと、意識せずとも優越感を持つことかと思えます。同和教育の呼び名ではなく、時代に即し世界にも目を向けて、ジェンダー・人種・肌色・民族・いじめなどをテーマに、他者を認め、命の尊厳を教育の場で是非推し進めたいと思っています。※ちなみに、子どもの結婚相手について、子どもからの情報だ

けで全く何も調べませんでした（2000～2015年にかけて結婚）。もし同和地区の方でも受け入れました。子どもを信じていたと思います。（家事専業）

- ◆ 人は未熟な故自分自身と異なった対象を中々受け入れる事は出来ない様です。そういう事をしっかり認めて改善していきたく思っております。（無職）
- ◆ 自由・差別ハラスメントなど、言葉だけが独り歩きしているように思えます。（役員・自営業者）
- ◆ 啓蒙活動は知っていますが、関心がないなぜか身近かな問題ではないから（無職）
- ◆ 同和研修会が地域公民館で開催はされているが、人権という大きなくくりで毎月テーマが変わり、「人権」ということに関しては、それぞれ問題はあり学習の必要性は感じるが、問題点の深化は進まない。「ことば用語」だけは知っている程度に終わってしまっているのではないだろうか（無職）
- ◆ 一部の国会議員の質が悪く困った問題です。（役員・自営業者）
- ◆ 見えにくくなった差別は沢山ある。認知症になった高齢に対するいじめ、よく耳にする年金をとりあげてしまう等々。生活困難者とは、どういう状態、老後が心配。施設にも行けない等々。親がなくなった後の相続についてもっと自由で簡単にならないものか。兄弟でも他人のようになってしまう事例をよく聞く。（家事専業）

80歳～

- ◆ 私は不登校の人達に、40才～50才迄、かかわって来ました。今は誰にでも笑顔で苦勞の終にバラ色の人生が待っていますよ～と畑をしたり、筋トレをしたり、楽しく、嬉しく、主人は昨年亡くなりましたが人生はその人の生き方があの世に行く為の虹の架け橋と申しますか好きな事今こそ出来ます。まず笑顔回りが楽しいと感じられる自分になる・何もいらない。自分と向き合う事！！（その他）
- ◆ 私は、周りには外国の方とか障害者の方が居られません。また身体が悪く外出とか行動範囲も狭いので、質問の答えは上手く答えられませんでした。（無職）
- ◆ 高齢者になりましても、日常生活が出来るように心がけ過ごしてます。（無回答）
- ◆ いじめについて、周りにいじめていると分からない方法でいじめ、人の輪に入らせないような陰湿ないじめで苦しんでいる人が居る。その人を孤立させてしまうやり方で、他の人から見たらわからないいじめがある。（家事専業）
- ◆ 80代になってから集会（講演会）などに参加していませんので、すっきり答えられなくなりました（無職）
- ◆ 広報誌をあまり目にしていないので、大きな事は言えないが、この「人権意識調査」の結果は今後の県政にどのように活かされるのですか？①調査結果を教えてください。②調査結果が人権教育や生活困難者の救済・ジェンダー平等などに活かされることを期待します。（無職）
- ◆ 全ての人々の人権尊重への意識の高揚は、今後も継続的な活動として取り組むべきでしょう（無職）
- ◆ 私は高校で同和教育部主任として活動しましたがなかなか同教、人権教育への理解が深まりませんでした。逆に、私の場合外国、アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス、ハンガリー、イタリアなどで体験した差別は多くあります。ドイツの場合は、私達日本人に対して比

較的友好でフレンドリー、親切にしてもらいました。行政には、長期的視野でもって、人材教育を推進して欲しいと思います。(無職)

- ◆ キーワードの全てについて、社会全体の意識の変化、向上には大いなるものを感じる。その背景には戦後日本の経済社会の安定的発展がある。戦争中であれば敵を憎み、社会が貧しければ他社を羨んで少しでも己より劣った点を探して自己の存在価値を確認しようとする。差別は他社との比較から生じ、比較の結果としての事実価値の上下を付与する心理から生じると思う。とするならば、人権問題を扱う上では道徳論の前に経済生活の安定・向上に意を注ぐべきであろう。鳥取県行政の人権問題に取り組む姿勢は全うであり、着実に実績を残している。更には、その要望を立法機関へ十分届けられたい。(無職)
- ◆ あらゆる人権課題に積極的に取り組む。行政はしっかり予算を取ることが大切。人あるかぎり人権問題は発生するし永遠の課題である。戦争は絶対許されないことである。(無回答)
- ◆ 生まれながらに存在する経済的格差は、その原因が見えにくくともずっと自己責任として捉えられてしまうおそれあり。本来は富の再分配は、税によってなすべきところ。政治力によってこれが妨げられている。国民自身が賢くならなければ、解決しない。(専門職・自由業)
- ◆ 相手の年齢も考えて、こう云った書き物は送って下さい。右手の人差し指の第一関節が軟骨がすりへりなくなっていて字を書くのもままならないのです。(役員・自営業者)
- ◆ 身近なところで差別的な発言をよく聞き、残念に思うことがあります。なかなか差別はなくならぬものですね。(農林漁業者)
- ◆ 同和地区の人は、一部の人だと思うけど、生活保護を受けて、もらった直後に、パチンコに行く人があり、そんな一部の人により、地区の人のイメージが悪く言われるのは、気の毒に思います。(アルバイト・パート)
- ◆ 私は30、40年前米子のビッグシップであったベ平連※の小田実さんの講演を聞きに行きました。小田さんは終わりの方で部落解放はもう終わったというのが心に残っております。ベ平連という言葉を知っている人、この調査局の人は何人知っているでしょう(無職)
- ◆ うちの母にはむずかしい言葉が多く理解がむずかしいし、説明するのも困難でした。小学生でもわかりやすい言葉でのアンケートなら本人もできたかもしれません。(無回答)

年齢未回答

- ◆ 問7の(7)について。共感とは？当事者でもないのに上部だけ共感されても気持ち悪くないか？と私は思う。そもそも支援とは。普通の人間として扱えばいい話だと思う。障がい者のように日常的に支障をきたすわけでもないし、そもそも性的趣向に関する支援というのが気持ち悪い。マジョリティと同じ扱いでいいと思う。(無回答)
- ◆ 一昔前に比べ、人権問題は国民全体に啓発され、普及されるようになった。この現状が継続されることが望ましい。(無回答)
- ◆ 全ての人より豊かな人生が送れるよう、お互いが尊重していきたい(無回答)
- ◆ 以前手助けしようと思えば声をかけたら反対に怒られたことがあってそれ以来、声をかけようと思わない。(無職)
- ◆ 外国人の人に対する不安は「知らない」ことが一つの原因だと思う。外国の人が公の場で活躍できる機会があれば少し、知ることができるのではないかと、なんとなく不安なのが差別の始まりではないかと、思う。(無回答)

- ◆ 差別は確かにいけないと思うが、何でもかんでも人権・権利に結び付けて（悪い言い方だが）少数派の方の意見が通りやすくなった。そのため、それに同調しないとすぐ差別主義者だと言われてしまい、暮らしにくい世の中になった。自分の意志を主張するとそれは差別なのか？全て均一平等が正しいとも思えない。（無回答）
- ◆ 性別や世代あるいは病気や怪我など、本人の責任によらずに不利な立場に置かれた人については、できる限り行政が支援すべきだろう。しかし自らの意志でこの国に来た外国人は別である。彼らを邪険に扱うことはないが、必要以上に手を差し伸べなくてもいい。異文化を理解し、順応しなければならないのは、元からいる日本人ではなく外国人の方である。（無回答）
- ◆ 今になって、いろいろな人権について考える事がある。（年をとってから）年代・年齢に添った、理解しやすい方法での啓発が必要。積み重ねが大切だと感じる。（無回答）
- ◆ 親である自分は息子が小さい頃から、性的マイノリティで、性別や精神的な事で、悩まされている事が気にかかる。生活面でも、理解に大変ではあるが、息子の事を理解しようと、思っている。また、生活が、困難で、できたら、給付金や、年金の事を、考慮して欲しいです。（無回答）
- ◆ 大企業等で障がい者雇用枠で採用されている方が、（通勤途上）バス停から遠い会社に徒歩通勤されている。体が不自由なので暑い日も寒い日もご苦労されて通勤されているのを目にすると日本は弱者が住みづらいと感じます。（無回答）